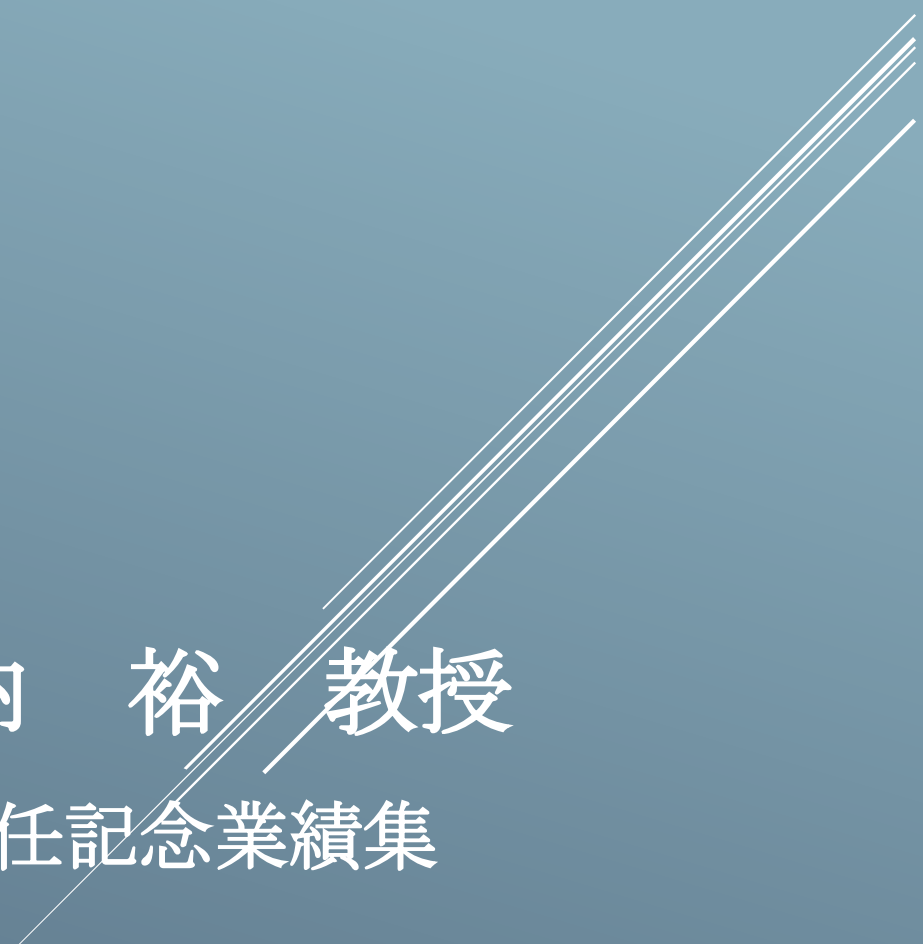




河内 裕 教授

退任記念業績集

新潟大学大学院医歯学総合研究科腎研究センター腎分子病態学分野
新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設分子病態学分野同門会

目次

近影	1
略歴	3
ご挨拶	5
研究業績	
英文論文・総説・著書	10
和文論文・総説・著書	32
学術集会発表	36
研究助成金	75
特許・特許出願	79
思い出の写真	81
編集後記	88



河内 裕 教授 近影

河内 裕 教授 略歴

学歴

昭和 62 年 3 月 新潟大学医学部医学科 卒業
(1987 年)

平成 3 年 3 月 新潟大大学院医学研究科 修了
(1991 年)

職歴

平成 3 年 4 月 日本学術振興会特別研究員
同 年 10 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設
免疫病態学分野 助手
平成 4 年 4 月 米国ボストン大学医療センター 研究員
平成 7 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設
分子病態学分野 (旧免疫病態学部門) 助手 (復職)
平成 9 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設
分子病態学分野 助教授
平成 20 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設
分子病態学分野 教授
平成 27 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設
施設長
平成 28 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科腎研究センター
腎分子病態学分野 教授
令和 2 年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科腎研究センター
センター長 (併任)
令和 7 年 3 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科 定年退任
(2025 年)

主な受賞

令和 5 年 令和 5 年度日本腎臓財団学術賞 受賞
令和 6 年 第 15 回日本腎臓学会ベストサイテーション賞 受賞
令和 7 年 第 78 回新潟日報文化賞 受賞

ご挨拶

ご挨拶

私は、慢性腎炎と診断され治療を受けはじめたことをきっかけに医学部への進学を考えるようになりました。私は神戸市の出身ですが、当時本屋でたまたま手に取った受験雑誌に新潟大学医学部には全国で唯一の腎に関する特別研究施設である腎研究施設があるとの記事があり、新潟大学で勉強して医者になろうと思い立ち、新潟大学医学部に入学しました。入学してすぐのころに、免疫学部門（現腎分子病態学分野）の初代の教授の清水不二雄先生に声をかけていただき、腎研究施設に出入りさせていただくようになりました。清水先生は学生の私にも大変熱心にご指導くださり、研究の面白さ大切さを教えていただき、研究者の道を志すようになりました。学部卒業後、大学院に入学し清水教授、追手舘助教授、助手の折笠道昭先生らのご指導の下、本格的に研究をはじめました。その後、大学院時代の研究で最も参考にした論文の著者である Salant 教授の教室で勉強したいと思い立ち、清水教授のご許可をいただいてボストンに留学しました。ボストンでの研究生生活が楽しくなり、このままずっとアメリカで暮らしたいと思い始めたころに、清水教授がボストンまで来られて、もういいかげんに新潟に戻って来い、との指示があり、1995 年の秋に新潟大学に戻りました。その後 1997 年 1 月に助教授、2008 年 4 月に清水先生の後任として第 2 代の教授に就任させていただき、新潟大学で研究を続けていくことができました。

研究生生活の 40 年間、一貫して取り組んできた研究テーマは糸球体疾患の発症、進行機序の解明、新規治療薬開発のための研究です。研究生生活の前半期、最も精力的に取り組んだのは実験モデルの開発でした。当時、腎不全に進行する実験モデルが無く、それが病態解明、薬剤開発が進まない理由と考えられていました。大学院時代に作製に成功した進行性の腎炎モデルは、国内外の多くの研究グループに使っていただき、病態解明、新規薬剤開発に貢献することができました。研究生生活の後半、最も力を注いだのはネフローゼ症候群(蛋白尿)の発症機序に関する研究でした。多くの若手研究者と共に発症機序の解明、新規治療薬開発に向けた研究を進めてきました。

教授在任中の体制の最も大きな変化は、腎研究施設が腎研究センター基礎部門に移行したことです。内科再編成で第 2 内科から腎・膠原病内科が独立したのを機に、同内科と私達の腎研究施設、そして学内で腎に関するトランスレーショナル研究を行っていたグループとの 3 部門体制で 2016 年に腎研究センターが発足致しました。腎研究センターは全国で唯一の腎の特別センターとしての重要な役割を担っています。基礎部門に移行後は腎研究施設時代以上に臨床の先生方との連携を深め、臨床応用に向けた研究を活発に進めることができました。腎研究センターの発足に際して、当時の腎・膠原病内科教授の成田一衛先生、医学部長の牛木辰男先生はじめ多くの先生方に大変お世話になりました。改めて深く感謝申し上げます。

全国で唯一の存在である新潟大学腎研究センターの基礎部門（腎研究施設）の重要な役割は個別の研究の発表だけでなく、腎領域の研究全体の活性化に寄与することと考えておりました。教育分野での貢献は重要と考え、国内外の多くの大学から若手の研究者を受け入れてまいりました。私達の研究室で研究された先生方は、現在全国各地、韓国、中国などで、腎の先端医療の指導者、研究者として活躍されております。また私の研究テーマのポドサイト分野の研究力の底上げのために研究会を設立し、全国から一線の研究者が集まって議論する会を10数年間、毎年新潟で開催してきました。ポドサイト研究会は現在、私の手から離れて発展し、ポドサイト研究の活性化に重要な役割を果たしております。

新潟大学の腎臓研究の伝統、実績のおかげで、私は研究を進めていくことができました。学生時代から現在まで40年以上にわたりご指導、ご支援をいただいていた清水不二雄先生、大学院時代から大変お世話になった追手舘先生、折笠道昭先生、先輩として多くの貴重なご助言をいただいた松井克之先生、森岡哲夫先生にこの場をお借りして改めて心より感謝を申し上げます。福住好恭先生、内許玉楓（旧名：張瑩）先生は、スタッフとして最後まで教室を支えていただき、この業績集の作成に際しても大変なご尽力をいただきました。小林英雄先生、小池廣子先生、富田雅之先生、安田英紀先生らはスタッフとして教室のモデル開発、分子生物学研究の立ち上げ、充実に貢献下さいました。

宮内直子先生、金子博司先生、高橋彩先生、高島奈津美先生、山岸稜平先生、常国慶先生（中国）、Ivanov先生（ロシア）らは私の教室の大学院生として、韓基東先生（韓国）、Murad先生（バングラディシュ）、高波先生（中国）は研究生として教室の研究を推進して下さいました。伊藤由美先生、森岡良夫先生、中枝武司先生、大滝恭弘先生、山崎美穂子先生、若松彩子先生、長谷川絵理子先生、高村紗由里先生（新潟大学第2内科、腎・膠原病内科）、池住洋平先生、唐澤環先生（新潟大学小児科）、渡辺徹先生（新潟市民病院小児科）、鈴木浩一先生（東京女子医大内科）、張田豊先生（東京大学小児科）、橋本多恵子先生（山形大学小児科）、齋藤陽先生（聖マリアンナ医大小児科）、高田彰先生（岩手医大小児科）、鈴木康一先生（弘前大学小児科）、渡辺秀平先生（福島県立医大腎臓内科）、永井隆先生（徳島大学小児科）ら多くの臨床医の先生方が来室し研究を進めて下さいました。研究補助員の萱場睦さん、北澤幸奈さん、長澤千春さん、川崎由美さんらにも大変お世話になりました。特に萱場睦さんには30年近くにわたり教室の研究を支えていただきました。ライフワークの1つとして取り組んできたポドサイト研究会（旧称：弥彦ポドサイトセミナー）は、その設立、研究会開催にあたり新潟県立吉田病院小児科の原正則先生に大変お世話になりました。

多くの皆様のご支援のおかげで研究活動を進めていくことができました。おかげで40年以上にわたり大変幸福な研究者生活を過ごすことができました。ご厚誼、ご支援いただいた全ての方に心より感謝を申し上げます。

2025年（令和7年）3月 河内 裕

研究業績

英文論文・総説・著書

和文論文・総説・著書

学術集会発表

A. 国際学会

B. 国内学会

研究助成金

特許・特許出願

英文論文・総説・著書

【1985 年】

- 1.Kawachi H, Oite T, Shimizu F. Studies on the 'linear pattern' in renal glomeruli demonstrated with immunofluorescence. **Nephron**. 39:36-39, 1985.

【1987 年】

- 2.Kawachi H, Nakamura T, Kazama T, Yaoita E, Morioka T, Matsui K, Oite T, Shimizu F. Nephritogenicity of anti-Engelbreth-Holm-Swarm sarcoma antibody. **Nephron**. 47:50-154, 1987.

【1991 年】

- 3.Okasora T, Nagase M, Kawachi H, Matsui K, Orikasa M, Morioka T, Yamazaki I, Oite T, Shimizu F. Altered localization of antigen recognized by proteinuria-inducing monoclonal antibody in experimental nephrosis. **Virchows Arch B Cell Pathol Incl Mol Pathol**. 60:41-46, 1991.
- 4.Oka M, Hidaka S, Nagase M, Kawachi H, Oite T, Shimizu F, Fujigaki Y, Kobayashi S, Muranaka Y. Study on the glomerular alterations in the proteinuric rats induced by a monoclonal antibody 5-1-6(mAb). **J Clin Electron Microsc**. 24:5-6, 1991.

【1992 年】

- 5.Kawachi H, Matsui K, Orikasa M, Morioka T, Oite T, Shimizu F. Quantitative studies of monoclonal antibody 5-1-6 induced proteinuric state in rats. **Clin Exp Immunol**. 87:215-219, 1992.
- 6.Kawachi H, Orikasa M, Matsui K, Iwanaga T, Toyabe S, Oite T, Shimizu F. Epitope-specific induction of mesangial lesions with proteinuria by a MoAb against mesangial cell surface antigen. **Clin Exp Immunol**. 88:399-404, 1992.
- 7.Kawachi H, Iwanaga T, Toyabe S, Oite T, Shimizu F. Mesangial sclerotic change with persistent proteinuria in rats after two consecutive injections of monoclonal antibody 1-22-3. **Clin Exp Immunol**. 90:129-134, 1992.
- 8.Kagami S, Okada K, Funai M, Matui K, Oite T, Kawachi H, Shimizu F, Kuroda Y. A monoclonal antibody (1G10) recognizes a novel human mesangial antigen. **Kidney Int**. 42:700-709, 1992.

【1993 年】

- 9.Sato T, Kawachi H, Morioka T, Takashima N, Saeki T, Oite T, Sato N.L, Takeuchi M, Shimizu F. Nephrotoxic serum nephritis in nude rats: the roles of host immune reactions in the accelerated type. **Clin Exp Immunol**. 91:131-134, 1993.
- 10.Takashima N, Kawachi H, Oite T, Nishi S, Arakawa M, Shimizu F. Effect of chlorpromazine on kinetics of injected monoclonal antibody in Mo-Ab-induced glomerular injury. **Clin Exp Immunol**. 91:135-140, 1993.
- 11.Kawachi H, Oite T, Shimizu F. Quantitative study of mesangial injury with proteinuria induced by monoclonal antibody 1-22-3. **Clin Exp Immunol**. 92:342-346, 1993.
- 12.Narisawa M, Kawachi H, Oite T, Shimizu F. Divalency of the monoclonal antibody 5-1-6 is required for induction of proteinuria in rats. **Clin Exp Immunol**. 93:522-526, 1993.

【1994 年】

- 13.Blantz R, Gabbai F, Peterson O, Kihara I, Kawachi H, Shimizu F, Yamamoto T. Water and protein permeability is regulated by the glomerular epithelial slit diaphragm. **J Am Soc Nephrol**. 4:1957-1964, 1994.
- 14.Kawachi H, Takashima N, Orikasa M, Oite T, Shimizu F. Effect of traditional Chinese medicine (Sairei-to) on monoclonal antibody-induced proteinuria in rats. **Pathol Int**. 44:339-344, 1994.
- 15.Kuroda T, Kawachi H, Oite T, Arakawa M, Shimizu F. Nephrotoxic serum nephritis in nude rats: The role of cell-mediated immunity. **Nephron** 68:360-365, 1994.

【1995 年】

- 16.Yaoita E, Yamamoto T, Takashima N, Kawasaki K, Kawachi H, Shimizu F, Kihara I. Visceral epithelial cells in rat glomerular cell culture. **Eur J Cell Biol**. 67:136-144, 1995.
- 17.Gollner D, Kawachi H, Oite T, Oka M, Nagase M, Shimizu F. Strain variation in susceptibility to the development of monoclonal antibody 5-1-6-induced proteinuria in rats. **Clin Exp Immunol**. 101:341-345, 1995.
- 18.Cheng Q.L, Orikasa M, Morioka T, Kawachi H, Chen X.M, Oite T, Shimizu F. Progressive renal lesions induced by administration of monoclonal antibody 1-22-3 to unilaterally nephrectomized rats. **Clin Exp Immunol**. 102:181-185, 1995.
- 19.Kitamura M, Burton S, English J, Kawachi H, Fine L.G. Transfer of a mutated gene encoding active transforming growth factor- β 1 suppresses mitogenesis and IL-1

- response in the glomerulus. **Kidney Int.** 48:1747-1757, 1995.
20. Goldstein D.J, Wheeler D.C, Sandstrom D.J, Kawachi H, Salant D.J. Fish oil ameliorates renal injury and hyperlipidemia in the Milan normotensive rat model of focal glomerulosclerosis. **J Am Soc Nephrol.** 6:1468-1475, 1995.
21. Kawachi H, Abrahamson D.R, St John P.L, Goldstein J, Shia MA, Matsui K, Shimizu F, Salant DJ. Developmental expression of the nephritogenic antigen of monoclonal antibody 5-1-6. **Am J Pathol.** 147:823-833, 1995.

【1996 年】

22. Fujigaki Y, Morioka T, Matsui K, Kawachi H, Orikasa M, Oite T, Shimizu F, Batsford S.R, Vogt A. Structural continuity of filtration slit (slit diaphragm) to plasma membrane of podocyte. **Kidney Int.** 50:54-62, 1996.

【1997 年】

23. Nakayama M, Okuda S, Tamaki K, Shimizu F, Kawachi H, Ando T, Yanagida T, Fujishima M. Roles of TGF- β and latent TGF- β -binding protein in glomerulosclerosis induced by two consecutive injections of monoclonal antibody 1-22-3 in rats. **Nephron.** 76:82-89, 1997.
24. Li P, Kawachi H, Morioka T, Orikasa M, Oite T, Shi ZS, Shimizu F. Suppressive effects of Sairei-to on mAb 1-22-3 induced glomerulonephritis: Analysis of effective components. **Pathol Int.** 47:430-435, 1997.
25. Kobayashi H, Orikasa M, Naito M, Kawasaki K, Oite T, Kawachi H, Yamashita A, Takeya M, Nihei H, Shimizu F. Detailed analysis of phenotypes of macrophages infiltrating glomeruli in rat anti-Thy-1 nephritis. **Nephron.** 77:333-339, 1997.
26. Omori S, Morioka T, Wakasugi M, Kawachi H, Arakawa M, Shimizu F, Oite T. Quantification of apoptotic cells using isolated glomeruli. **Nephron.** 77:474-478, 1997.
27. Kawachi H, Kurihara H, Topham P.S, Brown D, Shia M.A, Orikasa M, Shimizu F, Salant DJ. Slit diaphragm-reactive nephritogenic MAb 5-1-6 alters expression of ZO-1 in rat podocytes. **Am J Physiol.** 273: F984-F993, 1997.
28. Nakamura T, Obata J, Onizuka M, Kimura H, Ohno S, Yoshida Y, Kawachi H, Shimizu F. Candesartan prevents the progression of mesangioproliferative nephritis in rats. **Kidney Int.** 52: s226-s228, 1997.
29. Kitamura M, Kawachi H. Creation of an in vivo cytosensor using engineered mesangial cells-Automatic sensing of glomerular inflammation controls transgene activity. **J Clin Invest.** 100:1394-1399, 1997.

【1998 年】

30. Nakayama H, Oite T, Kawachi H, Morioka T, Kobayashi H, Orikasa M, Arakawa M, Shimizu F. Comparative nephritogenicity of two monoclonal antibodies that recognize different epitopes of rat Thy-1.1 molecule. **Nephron**. 78:453-463, 1998.
31. Fujigaki Y, Nagase M, Hidaka S, Matsui K, Shirai M, Nosaka H, Kawachi H, Shimizu F, Hishida A. Altered anionic GBM components in monoclonal antibody against slit diaphragm-injected proteinuric rats. **Kidney Int**. 54:1491-1500, 1998.
32. Yanase H, Orikasa M, Shimizu F, Kawachi H, Iwanaga T. Immunohistochemical identification of type B intercalated cells in the rat kidney by a monoclonal antibody. **Arch Histol Cytol**. 61:151-161, 1998.
33. Li P, Kawachi H, Orikasa M, Shi Z.S, Shimizu F. Effect of Sairei-to on irreversible glomerular sclerotic lesions in rats. **Nephrology**. 4:49-59, 1998.

【1999 年】

34. Nakamura T, Obata J, Kimura H, Ohno S, Yoshida Y, Kawachi H, Shimizu F. Blocking angiotensin II ameliorates proteinuria and glomerular lesions in progressive mesangioproliferative glomerulonephritis. **Kidney Int**. 55:877-889, 1999
35. Shimizu F, Kawachi H, Orikasa M. Role of mesangial cell damage in progressive renal disease. **Kidney Blood Press Res**. 22:5-12, 1999.
36. Wakasugi M, Kawachi H, Omori S, Takagi J, Nishi S, Arakawa M, Shimizu F. Expression of the molecule detectable by anti-propolypeptide of von Willebrand factor antibody in rat mesangial cells in anti-Thy 1.1 mAb 1-22-3-induced glomerulonephritis: a marker of injured mesangial cells. **Nephron**. 82:338-347, 1999.
37. Topham PS, Kawachi H, Haydar SA, Chug S, Addona T, Holzman LB, Shia M, Shimizu F, Salant DJ. Nephritogenic monoclonal antibody 5-1-6 is directed at the extracellular domain of rat nephrin. **J Clin Invest**. 104:1559-1566, 1999.

【2000 年】

38. Li P, Kawachi H, Suzuki Y, Saito A, Orikasa M, Shi ZS, Shimizu F. The prevention of glomerulosclerosis in rats using traditional Chinese medicine, Sairei-to. **Nephrology**. 5:83-89, 2000.
39. Kawachi H, Koike H, Kurihara H, Yaoita E, Orikasa M, Shia MA, Sakai T, Yamamoto T, Salant DJ, Shimizu F. Cloning of rat nephrin: Expression in developing glomeruli and in proteinuric states. **Kidney Int**. 57:1949-1961, 2000.
40. Ikezumi Y, Kawachi H, Toyabe S, Uchiyama M, Shimizu F. An anti-CD-5 monoclonal antibody ameliorates proteinuria and glomerular lesions in rat mesangioproliferative

- glomerulonephritis. **Kidney Int.** 58:100-114, 2000.
41. Kikuchi H, Kawachi H, Ito Y, Matsui K, Nosaka H, Saito A, Orikasa M, Arakawa M, Shimizu F. Severe proteinuria, sustained for 6 months, induces tubular epithelial cell injury and cell infiltration but not enough to induce progressive interstitial fibrosis in rats. **Nephrol Dial Transplant.** 15:799-810, 2000.
 42. Su Q, Kawachi H, Kanazawa H, Orikasa M, Takamiya H, Shimizu F. Renal interstitial cell infiltration in rats induced by immune reactions around proximal tubular basement membrane. **Clin Exp Nephrol.** 4:201-206, 2000.
 43. Kawachi H, Shimizu F. Molecular composition and function of the slit diaphragm: nephrin, the molecule responsible for proteinuria. **Clin Exp Nephrol.** 4:161-172, 2000.
 44. Suriki H, Suzuki K, Baba Y, Hasegawa K, Narisawa R, Okada Y, Mizuochi T, Kawachi H, Shimizu F, Asakura H. Analysis of cytokine production in the colon of nude mice with experimental colitis induced by adoptive transfer of immunocompetent cells from mice infected with a murine retrovirus. **Clin Immunol.** 97:33-42, 2000.
 45. Uchida K, Nitta K, Kobayashi H, Kawachi H, Shimizu F, Yumura W, Nihei H. Localization of Smad6 and Smad7 in the rat kidney and their regulated expression in the anti-Thy-1 nephritis. **Mol Cell Biol Res Commun.** 4:98-105, 2000.
 46. Nakamura T, Obata J, Onitsuka M, Shimada Y, Yoshida Y, Kawachi H, Shimizu F. Benidipine, a long-acting calcium-channel blocker, prevents the progression to end-stage renal failure in a rat mesangioproliferative glomerulonephritis. **Nephron.** 86:315-326, 2000.

【2001 年】

47. Fujigaki Y, Batsford S, Yamashita F, Yonemura K, Hishida A, Kawachi H, Shimizu F, Vogt A. Sequence of events in glomerular capillary wall at the onset of proteinuria in passive Heymann nephritis. **Virchows Arch.** 438:136-145, 2001.
48. Watanabe T, Kawachi H, Ikezumi Y, Yanagihara T, Oda Y, Shimizu F. Glomerular CD8+ cells predict progression of childhood IgA nephropathy. **Pediatr Nephrol.** 16:561-567, 2001.
49. Ostendorf T, Kunter U, Grone H-J, Bahlman F, Kawachi H, Shimizu F, Koch K, Janjic N, Floege J. Specific antagonism of PDGF prevents renal scarring in experimental glomerulonephritis. **J Am Soc Nephrol.** 12:909-918, 2001.
50. Suzuki K, Baba Y, Suriki H, Kawachi H, Shimizu F, Asakura H. Induction of Colitis and Exocrinopathy in Nude Mice Induced by Immunocompetent Cell Transfer from Murine Retrovirus-Infected Mice. **Trends in Gastroenterology and Hepatology.** 197-200, 2001.

51. Inoue T, Yaoita E, Kurihara H, Shimizu F, Sakai T, Kobayashi T, Ohshiro K, Kawachi H, Okada H, Suzuki H, Kihara I, Yamamoto T. FAT is a component of glomerular slit diaphragms. **Kidney Int.** 59:1003-1012, 2001.
52. Morioka Y, Koike H, Ikezumi Y, Ito Y, Oyanagi A, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Podocyte injuries exacerbate mesangial proliferative glomerulonephritis. **Kidney Int.** 60:2192-2204, 2001.
53. Oyanagi A, Orikasa M, Kawachi H, Ito Y, Koike H, Gejyo F, Shimizu F. Crescent-Forming Mechanism in an Irreversible Thy-1 Model in Rats. **Nephron.** 89:439-447, 2001.
54. Kasuga H, Ito Y, Sakamoto S, Kamada M, Kawachi H, Shimizu F, Yuzawa Y, Matsuo S. Effects of anti-TGF β type II receptor antibody on experimental glomerulonephritis. **Kidney Int.** 60:1745-1755, 2001.
55. Ito Y, Morioka Y, Koike H, Ikezumi Y, Kobayashi H, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Not the ED1+ but the ED3+ Macrophage Participates in the Pathogenesis of Irreversible Glomerular Changes. **Acta Medica et Biologica.** 49:73-80, 2001.
56. Tamai O, Oka N, Kikuchi T, Koda Y, Soejima M, Wada Y, Fujisawa M, Tamaki K, Kawachi H, Shimizu F, Kimura H, Imaizumi T, Okuda S. Caveolae in mesangial cells and caveolin expression in mesangial proliferative glomerulonephritis. **Kidney Int.** 59:471-480, 2001.
57. Schaier M, Lehrke I, Schade K, Morath C, Shimizu F, Kawachi H, Grone HJ, Ritz E, Wagner J. Isotretinoin alleviates renal damage in rat chronic glomerulonephritis. **Kidney Int.** 60:2222-2234, 2001.
58. Bonnet F, Cooper ME, Kawachi H, Allen TJ, Boner G, Gao Z. Irbesartan normalizes the deficiency in glomerular nephrin expression in a model of diabetes and hypertension. **Diabetologia.** 44:874-877, 2001.
59. Salant DJ, Natori Y, Kawachi H. Immunological renal diseases. **New York Rave Press**, 2001. (text book)

【2002 年】

60. Kawachi H, Koike H, Shimizu F. mAb 5-1-6 nephropathy and Nephrin. **Microsc Res Tech.** 57:236-240, 2002.
61. Kawachi H, Koike H, Shimizu F. Molecular structure and function of the slit diaphragm: expression of nephrin in proteinuric states and in developing glomeruli. **Nephrol Dial Transplant.** 17:20-22, 2002.
62. Ikezumi Y, Kanno K, Koike H, Tomita M, Uchiyama M, Shimizu F, Kawachi H. FK506 ameliorates proteinuria and glomerular lesions induced by anti-Thy 1.1 monoclonal

- antibody 1-22-3. **Kidney Int.** 61:1339-1350, 2002.
63. Ito Y, Kawachi H, Morioka Y, Nakatsue T, Koike H, Nakamura T, Gejyo F, Shimizu F. Fractalkine expression and the recruitment of CX3CR1+ cells in the prolonged mesangial proliferative glomerulonephritis. **Kidney Int.** 61:2044-2057, 2002.
64. Tanaka H, Waga S, Suzuki K, Nakahata T, Kawachi H, Shimizu F, Ito E. Rapidly progressive, pauci-immune diffuse Crescentic glomerulonephritis in an infant. **Pediatr Nephrol.** 17:730-732, 2002.
65. Matsuda M, Shikata K, Shimizu F, Suzuki Y, Miyasaka M, Kawachi H, Kawashima H, Wada J, Sugimoto H, Shikata Y, Ogawa D, Tojo S. J, Akima K, Makino H. Therapeutic effect of sulphated hyaluronic acid, a potential selectin-blocking agent, on experimental progressive mesangial proliferative glomerulonephritis. **J Pathol.** 198:407-414, 2002.
66. Sasaki S, Yoneyama H, Suzuki K, Suriki H, Aiba T, Watanabe S, Kawachi Y, Kawachi H, Shimizu F, Matsushima K, Asakura H, Narumi S. Blockade of CXCL10 protects mice from acute colitis and enhances crypt cell survival. **Eur J Immunol.** 32:3197-3205, 2002.
67. Cao Z, Bonnet F, Candido R, Nesteroff SP, Burns WC, Kawachi H, Shimizu F, Carey RM, De Gasparo M, Cooper ME. Angiotensin type 2 receptor antagonism confers renal protection in a rat model of progressive renal injury. **J Am Soc Nephrol.** 13:1773-1787, 2002.
68. Maruyama H, Higuchi N, Nishikawa Y, Hirahara H, Iino N, Kameda S, Kawachi H, Yaoita E, Gejyo F, Miyazaki J. Kidney-targeted naked DNA transfer by retrograde renal vein injection in rats. **Hum Gene Ther.** 10: 455-468, 2002.

【2003 年】

69. Kawachi H, Koike H, Kurihara H, Sakai T, Shimizu F. Cloning of rat homologue of podocin: Expression in proteinuric states and in developing glomeruli. **J Am Soc Nephrol.** 14:46-56, 2003.
70. Watanabe S, Suzuki K, Kawauchi Y, Yamagiwa S, Yoneyama H, Kawachi H, Okada Y, Shimizu F, Asakura H, Aoyagi Y. Kinetic analysis of the development of pancreatic lesions in mice infected with a murine retrovirus. **Clin Immunol.** 109:212-223, 2003.
71. Narita I, Goto S, Saito N, Song J, Kondo D, Omori K, Kawachi H, Shimizu F, Sakatsume M, Ueno M, Gejyo F. Genetic polymorphism of NPHS1 modifies the clinical manifestations of IgA nephropathy. **Lab Invest.** 83:1193-1200, 2003.
72. Peters H, Martini S, Woydt R, Ruckert M, Shimizu F, Kawachi H, Liefeldt L, Kramer S, Neumayer HH. Moderate alcohol intake has no impact on acute and chronic

- progressive anti-Thy-1 glomerulonephritis. **Am J Physiol Renal Physiol.** 284:1105-1114, 2003.
73. Kanno K, Kawachi H, Uchida Y, Hara M, Shimizu F, Uchiyama M. Urinary sediment podocalyxin in children with glomerular diseases. **Nephron Clin Pract.** 95:c91-99, 2003.
74. Han GD, Koike H, Nakatsue T, Suzuki K, Yoneyama H, Narumi S, Kobayashi N, Mundel P, Shimizu F, Kawachi H. IFN-inducible protein-10 has a differential role in podocyte during Thy 1.1 glomerulonephritis. **J Am Soc Nephrol.** 14:3111-3126, 2003.
75. Orikasa M, Iwanaga T, Kawachi H, Oyanagi A, Li P, Su Q, Kobayashi H, Nakayama H, Kikuchi H, Shimizu F. Monoclonal antibody against rat podocyte-derived macrophagic cells reacts with crescent-forming cells in an experimental model. **Nephrology** 8:217-223, 2003.
76. Davis BJ, Cao Z, de Gasparo M, Kawachi H, Cooper ME, Allen TJ. Disparate effects of angiotensin II antagonists and calcium channel blockers on albuminuria in experimental diabetes and hypertension: potential role of nephrin. **J Hypertens.** 21:209-216, 2003.
77. Suzuki A, Ito T, Imai E, Yamato M, Iwatani H, Kawachi H, Hori M. Retinoids regulate the repairing process of the podocytes in puromycin aminonucleoside-induced nephrotic rats. **J Am Soc Nephrol.** 14:981-991, 2003.
78. Hydrodynamics-based delivery of the viral interleukin-10 gene suppresses experimental crescentic glomerulonephritis in Wistar-Kyoto rats. Higuchi N, Maruyama H, Kuroda T, Kameda S, Iino N, Kawachi H, Nishikawa Y, Hanawa H, Tahara H, Miyazaki J, Gejyo F. **Gene Ther.** 10:1297-1310, 2003.
79. Koop K, Eikmans M, Baelde HJ, Kawachi H, De Heer E, Paul LC, Bruijn JA. Expression of podocyte-associated molecules in acquired human kidney diseases. **J Am Soc Nephrol.** 14:2063-2071, 2003.

【2004 年】

80. Ma Ji, Matsusaka T, Yang H, Kawachi H, Shimizu F, Isaka Y, Imai E, Kon V, Ichikawa I. Local actions of endogenous angiotensin II in injured glomeruli. **J Am Soc Nephrol.** 15:1268-1276, 2004.
81. Ikezumi Y, Kanno K, Karasawa T, Han GD, Ito Y, Koike H, Toyabe S, Uchiyama M, Shimizu F, Kawachi H. The role of lymphocytes in the experimental progressive glomerulonephritis. **Kidney Int.** 66:1036-1048, 2004.
82. Tomita M, Koike H, Han GD, Shimizu F, Kawachi H. Decreased collagen-degrading activity could be a marker of prolonged mesangial matrix expansion. **Clin Exp**

Nephrol. 8:17-26, 2004.

83. Schaier M, Liebler S, Schade K, Shimizu F, Kawachi H, Grone HJ. Retinoic acid receptor alpha and retinoid X receptor specific agonists reduce renal injury in established chronic glomerulonephritis of the rat. **J Mol Med.** 82:116-125, 2004.
84. Watanabe Y, Kobayashi T, Yaoita E, Kawachi H, Yamauchi a, Inoue T, Shimizu F, Yoshida Y, EI-Shemi AG, Okada H, Suzuki H, Yamamoto T. Novel expression of sodium/myo-inositol co-transporter in podocytes in puromycin aminonucleoside nephrosis. **Nephrol Dial Transplant.** 19:817-822, 2004.
85. Isaka Y, Nakamura H, Mizui M, Takabatake Y, Horio M, Kawachi H, Shimizu F, Imai E, Hori M. DNzyme for TGF-beta suppressed extracellular matrix accumulation in experimental glomerulonephritis. **Kidney Int.** 66:586-590, 2004.
86. Peters H, Martini S, Wang Y, Shimizu F, Kawachi H, Kramer S, Neumayer HH. Selective lymphocyte inhibition by FTY720 slows the progressive course of chronic anti-thy 1 glomerulosclerosis. **Kidney Int.** 66:1434-1443, 2004.
87. Asai M, Monkawa T, Marumo T, Fukuda S, Tsuji M, Yoshino J, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T. Spironolactone in combination with cilazapril ameliorates proteinuria and renal interstitial fibrosis in rats with anti-Thy-1 irreversible nephritis. **Hypertens Res.** 27:971-978, 2004
88. Davis BJ, Forbes JM, Thomas MC, Jerums G, Burns WC, Kawachi H, Allen TJ, Cooper ME. Superior renoprotective effects of combination therapy with ACE and AGE inhibition in the diabetic spontaneously hypertensive rat. **Diabetologia.** 47:89-97, 2004.
89. Tanabe H, Akashi T, Kawachi H, Andou N, Eishi Y, Takizawa T, Koike M, Ichinose S. Identification of hydroxyapatite deposits in the smooth muscle cells and ganglion cells of autopsied small intestines. **J Med Dent Sci.** 51:129-138, 2004.
90. Kawachi H. Novel functional molecules of slit membrane. **Nihon Rinsho.** 62:1823-1828, 2004. (review)

【2005 年】

91. Suganami T, Mukoyama M, Mori K, Yokoi H, Koshikawa M, Sawai K, Hidaka S, Ebihara K, Tanaka T, Sugawara A, Kawachi H, Vinson C, Ogawa Y, Nakao K. Prevention and reversal of renal injury by leptin in a new mouse model of diabetic nephropathy. **FASEB J.** 19:127-129, 2005.
92. Han GD, Suzuki K, Koike H, Siziki K, Yoneyama H, Narumi S, Shimizu f, Kawachi H. IFN-Inducible Protein-10 Plays a Pivotal Role in Maintaining Slit-Diaphragm Function by Regulating Podocyte Cell-Cycle Balance. **J Am Soc Nephrol.** 17:442-453,

- 2005.
93. Ikezumi Y, Suzuki T, Hayafuji S, Okubo S, Nikolic-Paterson DJ, Kawachi H, Shimizu F, Uchiyama M. The sialoadhesin (CD169) expressing a macrophage subset in human proliferative glomerulonephritis. **Nephrol Dial Transplant.** 20:2704-2713. 2005.
 94. Nakatsue T, Koike H, Han GD, Suzuki K, Miyauchi N, Yuan H, Salant DJ, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Nephrin and podocin dissociate at the onset of proteinuria in experimental membranous nephropathy. **Kidney Int.** 67:2239-2253, 2005.
 95. Uchimura H, Marumo T, Takase O, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T, Hoshikawa K, Fujita T. Intrarenal injection of bone marrow-derived angiogenic cells reduces endothelial injury and mesangial cell activation in Experimental glomerulonephritis. **J Am Soc Nephrol.** 16 : 997-1004, 2005.
 96. Meng Y, Kasai A, Hiramatsu N, Hayakawa K, Takeda M, Shimizu F, Kawachi H, Yao J, Kitamura M. Real-time monitoring of mesangial cell-macrophage cross-talk using SEAP in vitro and ex vivo. **Kidney Int.** 68:886-893, 2005.
 97. Takazawa Y, Maeshima Y, Kitayama H, Yamamoto Y, Kawachi H, Shimizu F, Matsui H, Sugiyama H, Yamasaki Y, Makino H. Infusion of angiotensin II reduces loss of glomerular capillary area in the early phase of anti-Thy-1.1 nephritis possibly via regulating angiogenesis-associated factors. **Kidney Int.** 68:704-722, 2005.
 98. Koshikawa M, Mukoyama M, Mori K, Suganami T, Sawai K, Yoshioka T, Nagae T, Yokoi H, Kawachi H, Shimizu F, Sugawara A, Nakao K. Role of p38 Mitogen-Activated Protein Kinase Activation in Podocyte Injury and Proteinuria in Experimental Nephrotic Syndrome. **J Am Soc Nephrol.** 16:2690-2701 2005.
 99. Wang Y, Kramer S, Loof T, Martini S, Kron S, Kawachi H, Shimizu F, Neumayer HH, Peters H. Stimulation of soluble guanylate cyclase slows progression in anti-thy1-induced chronic glomerulosclerosis. **Kidney Int.** 68:47-61, 2005.
 100. Kramer S, Loof T, Martini S, Ruckert M, Wang Y, Bohler T, Shimizu F, Kawachi H, Neumayer HH, Peters H. Mycophenolate mofetil slows progression in anti-thy1-induced chronic renal fibrosis but is not additive to a high dose of enalapril. **Am J Physiol Renal Physiol.** 289:359-368, 2005.
 101. Takabatake Y, Isaka Y, Mizui M, Kawachi H, Shimizu F, Ito T, Hori M, Imai E. Exploring RNA interference as a therapeutic strategy for renal disease. **Gene Ther.** 12:965-973, 2005.
 102. Wan Y, Gu L, Suzuki K, Karasawa T, Fujioka Y, Han GD, Koike H, Kawachi H, Shimizu F. Multi-glycoside of *Tripterygium wilfordii* Hook f. ameliorates proteinuria and acute mesangial injury induced by anti-Thy1.1 monoclonal antibody. **Nephron Exp Nephrol.** 99:121-129, 2005.

- 103.Wan YG, Sun W, Shimizu F, Gu LB, Suzuki K, Karasawa T, Kawachi H. Suppressive effects of GTW treatment on mesangial lesions in experimental irreversible glomerulosclerosis. **Zhongguo Zhong Yao Za Zhi.** 30:361-365, 2005.
- 104.Hirabayashi S, Mori H, Kansaku A, Kurihara H, Sakai T, Shimizu F, Kawachi H, Hata Y. MAGI-1 is a component of the glomerular slit diaphragm that is tightly associated with nephrin. **Lab Invest.** 85:1528-1543, 2005.
- 105.Meng Y, Kasai A, Hiramatsu N, Hayakawa K, Yamauchi K, Takeda M, Kawachi H, Shimizu F, Yao J, Kitamura M. Continuous, noninvasive monitoring of local microscopic inflammation using a genetically engineered cell-based biosensor. **Lab Invest.** 85:1429-1439, 2005.
- 106.Tomita M, Sogabe H, Nakazato S, Nakatsuji S, Noto T, Hamada K, Kawachi H, Shimizu F, Matsuo M, Mutoh S. Monoclonal antibody 1-22-3-induced glomerulonephritis in uninephrectomized rats as a model of progressive renal failure. **Nephrol Dial Transplant.** 20:2358-2367, 2005.
- 107.Asai M, Monkawa T, Marumo T, Fukuda S, Tsuji M, Yoshino J, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T. Spironolactone in combination with cilazapril ameliorates proteinuria and renal interstitial fibrosis in rats with anti-Thy-1 irreversible nephritis. **Hypertens Res.** 27:971-978, 2004.
- 108.Kawachi H. Novel molecules in regulating the barrier function of podocyte. **Japanese Journal of Nephrology.** 47:231-232, 2005. (review)
- 109.Hino M, Nagase M, Kaname S, Shibata S, Nagase T, Oba S, Funaki M, Kobayashi N, Kawachi H, Mundel P, Fujita T. Expression and regulation of adrenomedullin in renal glomerular podocytes. **Biochem Biophys Res Commun.** 330:178-185, 2005.

【2006 年】

- 110.Wang Y, Kramer S, Loof T, Martini S, Kron S, Kawachi H, Shimizu F, Neumayer HH, Peters H. Enhancing cGMP in experimental progressive renal fibrosis: soluble guanylate cyclase stimulation vs. phosphodiesterase inhibition. **Am J Physiol Renal Physiol.** 290:167-176, 2006.
- 111.Maconi D, Bonomelli M, Benigni A, Plati T, Sangalli F, Longaretti L, Conti S, Kawachi H, Hill P, Remuzzi G, Remuzzi A. Pathophysiologic implications of reduced podocyte number in a rat model of progressive glomerular injury. **Am J Pathol.** 168:42-54, 2006.
- 112.Takenaka T, Okada H, Kanno Y, Inoue T, Ryuzaki M, Nakamoto H, Kawachi H, Shimizu F, Suzuki H. Exogenous 5'-nucleotidase improves glomerular autoregulation in Thy-1 nephritic rats. **Am J Physiol Renal Physiol.** 290:844-53,

- 2006.
113. Harita Y, Miyauchi N, Karasawa T, Suzuki K, Han GD, Koike H, Igarashi T, Shimizu F, Kawachi H. Altered expression of junctional adhesion molecule 4 (JAM4) in injured podocytes. **Am J Physiol Renal Physiol.** 290:335-344, 2006.
 114. Kagami S, Shimizu M, Kondo S, Kitamura A, Urushihara M, Takamatsu M, Yamaji S, Ishigatsubo Y, Kawachi H, Shimizu F. Up-regulation of integrin-linked kinase activity in rat mesangioproliferative glomerulonephritis. **Life Sci.** 78:1794-1800, 2006.
 115. Han GD, Suzuki K, Koike H, Suzuki K, Yoneyama H, Narumi S, Shimizu F, Kawachi H. IFN-inducible protein-10 plays a pivotal role in maintaining slit-diaphragm function by regulating podocyte cell-cycle balance. **J Am Soc Nephrol.** 17:442-453, 2006.
 116. Tsuji M, Monkawa T, Yoshino J, Asai M, Fukuda S, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T. Microarray analysis of a reversible model and an irreversible model of anti-Thy-1 nephritis. **Kidney Int.** 69:996-1004, 2006.
 117. Ostendorf T, Rong S, Boor P, Wiedemann S, Kunter U, Haubold U, van Roeyen CR, Eitner F, Kawachi H, Starling G, Alvarez E, Smithson G, Floege J. Antagonism of PDGF-D by human antibody CR002 prevents renal scarring in experimental glomerulonephritis. **J Am Soc Nephrol.** 17:1054-1062, 2006.
 118. Hanawa T, Suzuki K, Kawauchi Y, Takamura M, Yoneyama H, Han GD, Kawachi H, Shimizu F, Asakura H, Miyazaki JI, Maruyama H, Aoyagi Y. Attenuation of mouse acute colitis by naked hepatocyte growth factor gene transfer into the liver. **J Gene Med.** 8:623-635, 2006.
 119. Hara A, Wada T, Furuichi K, Sakai N, Kawachi H, Shimizu F, Shibuya M, Matsushima K, Yokoyama H, Egashira K, Kaneko S. Blockade of VEGF accelerates proteinuria, via decrease in nephrin expression in rat crescentic glomerulonephritis. **Kidney Int.** 69:1986-1995, 2006.
 120. Mizui M, Isaka Y, Takabatake Y, Sato Y, Kawachi H, Shimizu F, Takahara S, Ito T, Imai E. Transcription factor Ets-1 is essential for mesangial matrix remodeling. **Kidney Int.** 70:298-305, 2006.
 121. Kawauchi Y, Suzuki K, Watanabe S, Yamagiwa S, Yoneyama H, Han GD, Palaniyandi SS, Veeraveedu PT, Watanabe K, Kawachi H, Okada Y, Shimizu F, Asakura H, Aoyagi Y, Narumi S. Role of IP-10/CXCL10 in the progression of pancreatitis-like injury in mice after murine retroviral infection. **Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.** 291:345-354, 2006.
 122. Ichihara A, Kaneshiro Y, Takemitsu T, Sakoda M, Nakagawa T, Nishiyama A,

- Kawachi H, Shimizu F, Inagami T. Contribution of nonproteolytically activated prorenin in glomeruli to hypertensive renal damage. **J Am Soc Nephrol.** 17:2495-2503, 2006.
- 123.Miyauchi N, Saito A, Karasawa T, Harita Y, Suzuki K, Koike H, Han GD, Shimizu F, Kawachi H. Synaptic vesicle protein 2B is expressed in podocyte, and its expression is altered in proteinuric glomeruli. **J Am Soc Nephrol.** 17:2748-2759, 2006.
- 124.Li H, Zhu J, Aoudjit L, Latreille M, Kawachi H, Larose L, Takano T. Rat nephrin modulates cell morphology via the adaptor protein Nck. **Biochem Biophys Res Commun.** 349:310-316, 2006.
- 125.Ikezumi Y, Suzuki T, Imai N, Ueno M, Narita I, Kawachi H, Shimizu F, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Histological differences in new-onset IgA nephropathy between children and adults. **Nephrol Dial Transplant.** 21:3466-3474, 2006.
- 126.Tsubata Y, Sakatsume M, Ogawa A, Alchi B, Kaneko Y, Kuroda T, Kawachi H, Narita I, Yamamoto T, Gejyo F. Expression of allograft inflammatory factor-1 in kidneys: A novel molecular component of podocyte. **Kidney Int.** 70:1948-1954, 2006.
- 127.Kawachi H, Miyauchi N, Han GD. Structure and function of podocyte. **Nihon Rinsho.** 64:70-73, 2006. (review)
- 128.Kawachi H, Miyauchi N, Suzuki K, Han GD, Orikasa M, Shimizu F. Role of podocyte slit diaphragm as a filtration barrier. **Nephrology.** 11:274-281, 2006. (review)
- 129.Kondo S, Shimizu M, Urushihara M, Tsuchiya K, Yoshizumi M, Tamaki T, Nishiyama A, Kawachi H, Shimizu F, Quinn MT, Lambeth DJ, Kagami S. Addition of the antioxidant probucol to angiotensin II type I receptor antagonist arrests progressive mesangioproliferative glomerulonephritis in the rat. **J Am Soc Nephrol.** 17:783-794, 2006.

【2007 年】

- 130.Suzuki K, Han GD, Miyauchi N, Hashimoto T, Nakatsue T, Fujioka Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Angiotensin II Type 1 and Type 2 Receptors Play Opposite Roles in Regulating the Barrier Function of Kidney Glomerular Capillary Wall. **Am J Pathol.** 170:1841-1853, 2007.
- 131.Hashimoto T, Karasawa T, Saito A, Miyauchi N, Han GD, Hayasaka K, Shimizu F, Kawachi H. Ephrin-B1 localizes at the slit diaphragm of the glomerular podocyte. **Kidney Int.** 72:954-964, 2007.
- 132.Eto N, Wada T, Inagi R, Takano H, Shimizu A, Kato H, Kurihara H, Kawachi H, Shankland SJ, Fujita T, Nangaku M. Podocyte protection by darbepoetin:

- preservation of the cytoskeleton and nephrin expression. **Kidney Int.** 72:455-463, 2007.
133. Shibata S, Nagase M, Yoshida S, Kawachi H, Fujita T. Podocyte as the target for aldosterone: roles of oxidative stress and Sgk1. **Hypertension.** 49:355-364, 2007.
 134. Suzuki K, Kawauchi Y, Palaniyandi SS, Veeraveedu PT, Fujii M, Yamagiwa S, Yoneyama H, Han GD, Kawachi H, Okada Y, Ajioka Y, Watanabe K, Hosono M, Asakura H, Aoyagi Y, Narumi S. Blockade of interferon-gamma-inducible protein-10 attenuates chronic experimental colitis by blocking cellular trafficking and protecting intestinal epithelial cells. **Pathol Int.** 57:413-420, 2007.
 135. Hokari M, Matsuda Y, Wakai T, Shirai Y, Sato M, Tsuchiya A, Takamura M, Yamagiwa S, Suzuki K, Ohkoshi S, Ichida T, Kawachi H, Aoyagi Y. Tumor suppressor carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 1 potentiates the anchorage-independent growth of human hepatoma HepG2 cells. **Life Sci.** 81:336-345, 2007.
 136. Nakaya I, Wada T, Furuichi K, Sakai N, Kitagawa K, Yokoyama H, Ishida Y, Kondo T, Sugaya T, Kawachi H, Shimizu F, Narumi S, Haino M, Gerard C, Matsushima K, Kaneko S. Blockade of IP-10/CXCR3 promotes progressive renal fibrosis. **Nephron Exp Nephrol.** 107:12-21, 2007.
 137. Amazonas RB, Sanita Rde A, Kawachi H, de Faria JB. Prevention of hypertension with or without renin-angiotensin system inhibition precludes nephrin loss in the early stage of experimental diabetes mellitus. **Nephron Physiol.** 107:57-64, 2007.
 138. Yoneyama H, Kai Y, Koyama J, Suzuki K, Kawachi H, Narumi S, Ichida T. Neutralization of CXCL10 accelerates liver regeneration in carbon tetrachloride-induced acute liver injury. **Med Mol Morphol.** 40: 191-197, 2007.
 139. Ogawa A, Sakatsume M, Wang X, Sakamaki Y, Tsubata Y, Alchi B, Kuroda T, Kawachi H, Narita I, Shimizu F, Gejyo F. SM22alpha: the novel phenotype marker of injured glomerular epithelial cells in anti-glomerular basement membrane nephritis. **Nephron Exp Nephrol.** 106:77-87, 2007.

【2008 年】

140. Otaki Y, Miyauchi N, Higa M, Takada A, Kuroda T, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Dissociation of NEPH1 from nephrin is involved in the development of rat model of focal segmental glomerulosclerosis. **Am J Physiol Renal Physiol.** 295:1376-1387, 2008.
141. Koop K, Eikmans M, Wehland M, Baelde H, Ijpelaar D, Kreutz R, Kawachi H, Kerjaschki D, de Heer E, Bruijn JA. Selective loss of podoplanin protein expression

- accompanies proteinuria and precedes alterations in podocyte morphology in a spontaneous proteinuric rat model. **Am J Pathol.** 173:315-326, 2008.
142. Furuichi K, Wada T, Kitajikma S, Toyama T, Okumura T, Hara A, Kawachi H, Shimizu F, Sugaya T, Mukaida N, Narumi S, Matsushima K, Kaneko S. IFN-inducible protein 10 (CXCL10) regulates tubular cell proliferation in renal ischemia-reperfusion injury. **Nephron Exp Nephrol.** 109:29-38, 2008.
 143. Wittmann S, Daniel C, Braun A, Vogelbacher R, Shimizu F, Kawachi H, Hugo C. The mTOR inhibitor everolimus attenuates the time course of chronic anti-Thy1 nephritis in the rat. **Nephron Exp Nephrol.** 108:45-56, 2008.
 144. Uchida K, Suzuki K, Iwamoto M, Kawachi H, Ohno M, Horita S, Nitta K. Decreased tyrosine phosphorylation of nephrin in rat and human nephrosis. **Kidney Int.** 73:926-932, 2008.
 145. Krämer S, Kron S, Wang-Rosenke Y, Loof T, Khadzhynov D, Morgera S, Kawachi H, Shimizu F, Martini S, Neumayer HH, Peters H. Rosuvastatin is additive to high-dose candesartan in slowing progression of experimental mesangioproliferative glomerulosclerosis. **Am J Physiol Renal Physiol.** 294:801-811, 2008.
 146. Krämer S, Wang-Rosenke Y, Scholl V, Binder E, Loof T, Khadzhynov D, Kawachi H, Shimizu F, Diekmann F, Budde K, Neumayer HH, Peters H.
 147. Low-dose mTOR inhibition by rapamycin attenuates progression in anti-thy1-induced chronic glomerulosclerosis of the rat. **Am J Physiol Renal Physiol.** 294:440-449, 2008.
 148. Nakhoul F, Khankin E, Yaccob A, Kawachi H, Karram T, Awaad H, Nakhoul N, Hoffman A, Abassi Z. Eplerenone potentiates the antiproteinuric effects of enalapril in experimental nephrotic syndrome. **Am J Physiol Renal Physiol.** 294:628-637, 2008.
 149. Zhu J, Sun N, Aoudjit L, Li H, Kawachi H, Lemay S, Takano T. Nephrin mediates actin reorganization via phosphoinositide 3-kinase in podocytes. **Kidney Int.** 73:556-566, 2008.
 150. Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Use of mizoribine as a rescue drug for steroid-resistant pediatric IgA nephropathy. **Pediatr Nephrol.** 23:645-650, 2008.
 151. Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Activated macrophages down-regulate podocyte nephrin and podocin expression via stress-activated protein kinases. **Biochem Biophys Res Commun.** 376:706-711, 2008.

【2009 年】

- 152.Okada T, Sakaguchi T, Hatamura I, Saji F, Negi S, Otani H, Muragaki Y, Kawachi H, Shigematsu T. Tolvaptan, a selective oral vasopressin V2 receptor antagonist, ameliorates podocyte injury in puromycin aminonucleoside nephrotic rats. **Clin Exp Nephrol**. 13:438-446, 2009.
- 153.Matsui I, Hamano T, Tomida K, Inoue K, Takabatake Y, Nagasawa Y, Kawada N, Ito T, Kawachi H, Rakugi H, Imai E, Isaka Y. Active vitamin D and its analogue, 22-oxacalcitriol, ameliorate puromycin aminonucleoside-induced nephrosis in rats. **Nephrol Dial Transplant**. 24:2354-2361, 2009.
- 154.Mii A, Shimizu A, Masuda Y, Ishizaki M, Kawachi H, Iino Y, Katayama Y, Fukuda Y. Angiotensin II receptor blockade inhibits acute glomerular injuries with the alteration of receptor expression. **Lab Invest**. 89:164-177, 2009.
- 155.Kawachi H, Han GD, Miyauchi N, Hashimoto T, Suzuki K, Shimizu F. Therapeutic targets in the podocyte: findings in anti-slit diaphragm antibody-induced nephropathy. **J Nephrol**. 22:450-456, 2009. (review)
- 156.Kawachi H, Suzuki K, Miyauchi N, Hashimoto T, Otaki Y, Shimizu F. Slit diaphragm dysfunction in proteinuric states: identification of novel therapeutic targets for nephrotic syndrome. **Clin Exp Nephrol**. Nephrology 13:275-280, 2009. (review)

【2010 年】

- 157.Urushihara M, Takamatsu M, Shimizu M, Kondo S, Kinoshita Y, Suga K, Kitamura A, Matsuura S, Yoshizumi M, Tamaki T, Kawachi H, Kagami S. ERK5 activation enhances mesangial cell viability and collagen matrix accumulation in rat progressive glomerulonephritis. **Am J Physiol Renal Physiol**. 298:167-176, 2010.
- 158.Attias O, Jiang R, Aoudjit L, Kawachi H, Takano T. Rac1 contributes to actin organization in glomerular podocytes. **Nephron Exp Nephrol**. 114:93-106, 2010.
- 159.Zhu J, Attias O, Aoudjit L, Jiang R, Kawachi H, Takano T. p21-activated kinases regulate actin remodeling in glomerular podocytes. **Am J Physiol Renal Physiol**. 298:951-961, 2010.
- 160.Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Hasegawa H, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Contrasting effects of steroids and mizoribine on macrophage activation and glomerular lesions in rat thy-1 mesangial proliferative glomerulonephritis. **Am J Nephrol**. 31:273-282, 2010.
- 161.Tanaka M, Asada M, Higashi AY, Nakamura J, Oguchi A, Tomita M, Yamada S, Asada N, Takase M, Okuda T, Kawachi H, Economides AN, Robertson E, Takahashi S, Sakurai T, Goldschmeding R, Muso E, Fukatsu A, Kita T, Yanagita M. Loss of the

- BMP antagonist USAG-1 ameliorates disease in a mouse model of the progressive hereditary kidney disease Alport syndrome. **J Clin Invest.** 120:768-777, 2010.
162. Sun X, Suzuki K, Nagata M, Kawauchi Y, Yano M, Ohkoshi S, Matsuda Y, Kawachi H, Watanabe K, Asakura H, Aoyagi Y. Rectal administration of tranilast ameliorated acute colitis in mice through increased expression of heme oxygenase-1. **Pathol Int.** 60:93-101, 2010.
163. Fukuda A, Fujimoto S, Iwatsubo S, Kawachi H, Kitamura K. Effects of mineralocorticoid and angiotensin II receptor blockers on proteinuria and glomerular podocyte protein expression in a model of minimal change nephrotic syndrome. **Nephrology.** 15:321-326, 2010.
164. Tsuda H, Yamahara K, Ishikane S, Otani K, Nakamura A, Sawai K, Ichimaru N, Sada M, Taguchi A, Hosoda H, Tsuji M, Kawachi H, Horio M, Isaka Y, Kangawa K, Takahara S, Ikeda T. Allogenic fetal membrane-derived mesenchymal stem cells contribute to renal repair in experimental glomerulonephritis. **Am J Physiol Renal Physiol.** 299:1004-1013, 2010.
165. Fan JP, Kim D, Kawachi H, Ha TS, Han GD. Ameliorating effects of L-carnitine on diabetic podocyte injury. **J Med Food.** 13:1324-1330, 2010.

【2011 年】

166. Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Hasegawa H, Yamada T, Imai N, Narita I, Kawachi H, Polkinghorne KR, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Identification of alternatively activated macrophages in new-onset paediatric and adult immunoglobulin A nephropathy: potential role in mesangial matrix expansion. **Histopathology** 58:198-210, 2011.
167. Saito A, Miyauchi N, Hashimoto T, Karasawa T, Han GD, Kayaba M, Sumi T, Tomita M, Ikezumi Y, Suzuki K, Koitabashi Y, Shimizu F, Kawachi H. Neurexin-1, a presynaptic adhesion molecule, localizes at the slit diaphragm of the glomerular podocytes in kidneys. **Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol.** 300:340-348, 2011.
168. Ohtsuka Y, Kanaji T, Nishi M, Sakai N, Sato T, Aoki S, Wakayama K, Nakazato S, Hisano S, Sado Y, Kawachi H, Izuhara K, Hamasaki Y. A notable case report of May-Hegglin anomaly with immune complex-related nephropathy: a genetic and histological analysis. **Clin Nephrol.** 75:255-262, 2011.
169. Kojima K, Nosaka H, Kishimoto Y, Nishiyama Y, Fukuda S, Shimada M, Kodaka K, Saito F, Matsumura K, Shimizu T, Toda T, Takeda S, Kawachi H, Uchida S. Defective glycosylation of α -dystroglycan contributes to podocyte flattening. **Kidney Int.** 79:311-316, 2011.

170. Suzuki K, Sun X, Nagata M, Kawase T, Yamaguchi H, Sukumaran V, Kawauchi Y, Kawachi H, Nishino T, Watanabe K, Yoneyama H, Asakura H. Analysis of intestinal fibrosis in chronic colitis in mice induced by dextran sulfate sodium. **Pathol Int.** 61:228-238, 2011.
171. Kinoshita Y, Kondo S, Urushihara M, Suga K, Matsuura S, Takamatsu M, Shimizu M, Nishiyama A, Kawachi H, Kagami S. Angiotensin II type I receptor blockade suppresses glomerular renin-angiotensin system activation, oxidative stress, and progressive glomerular injury in rat anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis. **Transl Res.** 158:235-248, 2011.
172. Soetikno V, Sari FR, Veeraveedu PT, Thandavarayan RA, Harima M, Sukumaran V, Lakshmanan AP, Suzuki K, Kawachi H, Watanabe K. Curcumin ameliorates macrophage infiltration by inhibiting NF- κ B activation and proinflammatory cytokines in streptozotocin induced-diabetic nephropathy. **Nutr Metab.** 10:35-41, 2011.
173. Miyasato K, Takabatake Y, Kaimori J, Kimura T, Kitamura H, Kawachi H, Li XK, Hünig T, Takahara S, Rakugi H, Isaka Y. CD28 superagonist-induced regulatory T cell expansion ameliorates mesangioproliferative glomerulonephritis in rats. **Clin Exp Nephrol.** 15:50-57, 2011.

【2012 年】

174. Sofue T, Kiyomoto H, Kobori H, Urushihara M, Nishijima Y, Kaifu K, Hara T, Matsumoto S, Ichimura A, Ohsaki H, Hitomi H, Kawachi H, Hayden MR, Whaley-Connell A, Sowers JR, Ito S, Kohno M, Nishiyama A. Early treatment with olmesartan prevents juxtamedullary glomerular podocyte injury and the onset of microalbuminuria in type 2 diabetic rats. **Am J Hypertens.** 25:604-611, 2012.
175. Toyama K, Morisaki H, Cheng J, Kawachi H, Shimizu F, Ikawa M, Okabe M, Morisaki T. Proteinuria in AMPD2-deficient mice. **Genes Cells.** 17:28-38, 2012.
176. Sato A, Piao H, Nozawa Y, Morioka T, Kawachi H, Oite T. Local delivery of a direct renin inhibitor into the kidney ameliorates progression of experimental glomerulonephritis. **Clin Exp Nephrol.** 16:539-548, 2012.
177. Ramadan R, Faour D, Awad H, Khateeb E, Cohen R, Yahia A, Torgovicky R, Cohen R, Lazari D, Kawachi H, Abassi Z. Early treatment with everolimus exerts nephroprotective effect in rats with adriamycin-induced nephrotic syndrome. **Nephrol Dial Transplant.** 27:2231-2241, 2012.
178. Tanabe M, Shimizu A, Masuda Y, Kataoka M, Ishikawa A, Wakamatsu K, Mii A, Fujita E, Higo S, Kaneko T, Kawachi H, Fukuda Y. Development of lymphatic

vasculature and morphological characterization in rat kidney. **Clin Exp Nephrol.** 16:833-42, 2012.

【2013 年】

179. Soetikno V, Sari FR, Sukumaran V, Lakshmanan AP, Harima M, Suzuki K, Kawachi H, Watanabe K. Curcumin decreases renal triglyceride accumulation through AMPK-SREBP signaling pathway in streptozotocin-induced type 1 diabetic rats. **J Nutr Biochem.** 24:796-802, 2013.
180. Lakshmanan AP, Harima M, Suzuki K, Soetikno V, Nagata M, Nakamura T, Takahashi T, Sone H, Kawachi H, Watanabe K. The hyperglycemia stimulated myocardial endoplasmic reticulum (ER) stress contributes to diabetic cardiomyopathy in the transgenic non-obese type 2 diabetic rats: a differential role of unfolded protein response (UPR) signaling proteins. **Int J Biochem Cell Biol.** 45:438-447, 2013.
181. Babayeva S, Rocque B, Aoudjit L, Zilber Y, Li J, Baldwin C, Kawachi H, Takano T, Torban E. Planar cell polarity pathway regulates nephrin endocytosis in developing podocytes. **J Biol Chem.** 288:24035-24048, 2013.
182. Soetikno V, Sari FR, Lakshmanan AP, Arumugam S, Harima M, Suzuki K, Kawachi H, Watanabe K. Curcumin alleviates oxidative stress, inflammation, and renal fibrosis in remnant kidney through the Nrf2-keap1 pathway. **Mol Nutr Food Res.** 57:1649-1659, 2013.
183. Wang-Rosenke Y, Khadzhynov D, Loof T, Mika A, Kawachi H, Neumayer HH, Peters H. Tyrosine kinases inhibition by Imatinib slows progression in chronic anti-thy1 glomerulosclerosis of the rat. **BMC Nephrol.** 14:223, 2013.

【2014 年】

184. Yamada S, Nakamura J, Asada M, Takase M, Matsusaka T, Iguchi T, Yamada R, Tanaka M, Higashi AY, Okuda T, Asada N, Fukatsu A, Kawachi H, Graf D, Muso E, Kita T, Kimura T, Pastan I, Economides AN, Yanagita M. Twisted gastrulation, a BMP antagonist, exacerbates podocyte injury. **PLoS One.** 9:89135, 2014.
185. Kim J, Choi JY, Park SH, Yang SH, Park JA, Shin K, Lee EY, Kawachi H, Kohsaka H, Song YW. Therapeutic effect of anti-C-X-C motif chemokine 10 (CXCL10) antibody on C protein-induced myositis mouse. **Arthritis Res Ther.** 16:126, 2014.
186. Takahashi A, Fukusumi Y, Yamazaki M, Kayaba M, Kitazawa Y, Tomita M, Kawachi H. Angiotensin II type 1 receptor blockade ameliorates proteinuria in puromycin aminonucleoside nephropathy by inhibiting the reduction of NEPH1 and nephrin.

J Nephrol. 27:627-634, 2014.

187. Fukusumi Y, Miyauchi N, Hashimoto T, Saito A, Kawachi H. Therapeutic target for nephrotic syndrome: Identification of novel slit diaphragm associated molecules. **World J Nephrol.** 3:77-84, 2014. (review)

【2015 年】

188. Fukusumi Y, Wakamatsu A, Takashima N, Hasegawa E, Miyauchi N, Tomita M, Kawachi H. SV2B is essential for the integrity of the glomerular filtration barrier. **Lab Invest.** 95:534–545, 2015.
189. Maruyama T, Fukuda N, Matsumoto T, Kano K, Endo M, Kazama M, Kazama T, Ikeda J, Matsuda H, Ueno T, Abe M, Okada K, Soma M, Matsumoto K, Kawachi H. Systematic implantation of dedifferentiated fat cells ameliorated monoclonal antibody 1-22-3-induced glomerulonephritis by immunosuppression with increases in TNF-stimulated gene 6. **Stem Cell Res Ther.** 6:80, 2015.
190. Suzuki K, Fukusumi Y, Yamazaki M, Kaneko H, Tsuruga K, Tanaka H, Ito E, Matsui K, Kawachi H. Alteration in the podoplanin-ezrin-cytoskeleton linkage is an important initiation event of the podocyte injury in puromycin aminonucleoside nephropathy, a mimic of minimal change nephrotic syndrome. **Cell Tissue Res.** 362:201-213, 2015.

【2016 年】

191. Yaoita E, Nishimura H, Nameta M, Yoshida Y, Takimoto H, Fujinaka H, Kawachi H, Magdeldin S, Zhang Y, Xu B, Oyama T, Nakamura F, Yamamoto T. Avian Podocytes, Which Lack Nephrin, Use Adherens Junction Proteins at Intercellular Junctions. **J Histochem Cytochem.** 64:67-76, 2016.
192. Wakamatsu A, Fukusumi Y, Hasegawa E, Tomita M, Watanabe T, Narita I, Kawachi H. Role of calcineurin (CN) in kidney glomerular podocyte: CN inhibitor ameliorated proteinuria by inhibiting the redistribution of CN at the slit diaphragm. **Physiol Rep.** 4:12679, 2016.
193. Goto K, Kaneko Y, Sato Y, Otsuka T, Yamamoto S, Goto S, Yamamoto K, Yamamoto T, Kawachi H, Madaio MP, Narita I. Leptin deficiency down-regulates IL-23 production in glomerular podocytes resulting in an attenuated immune response in nephrotoxic serum nephritis. **Int Immunol.** 28:197-208, 2016.
194. Yamazaki M, Fukusumi Y, Kayaba M, Kitazawa Y, Takamura S, Narita I, Kawachi H. Possible role for glomerular-derived angiotensinogen in nephrotic syndrome. **J Renin Angiotensin Aldosterone Syst.** 17:1470320316681223, 2016.

【2017 年】

- 195.Nishimura H, Yaoita E, Nameta M, Yamaguchi K, Sato M, Ihoriya C, Zhao L, Kawachi H, Sasaki T, Ikezumi Y, Ouchi Y, Kashihara N, Yamamoto T. Restricted nutrition-induced low birth weight, low number of nephrons and glomerular mesangium injury in Japanese quail. **J Dev Orig Health Dis.** 8:287-300, 2017.
- 196.Dumont V, Tolvanen TA, Kuusela S, Wang H, Nyman TA, Lindfors S, Tienari J, Nisen H, Suetsugu S, Plomann M, Kawachi H, Lehtonen S. PACSIN2 accelerates nephrin trafficking and is up-regulated in diabetic kidney disease. **FASEB J.** 31:3978-3990, 2017.

【2018 年】

- 197.Fukusumi Y, Zhang Y, Yamagishi R, Oda K, Watanabe T, Matsui K, Kawachi H. Nephrin-Binding Ephrin-B1 at the Slit Diaphragm Controls Podocyte Function through the JNK Pathway. **J Am Soc Nephrol.** 29:1462-1474, 2018.

【2019 年】

- 198.Nemoto Y, Kumagai T, Ishizawa K, Miura Y, Shiraishi T, Morimoto C, Sakai K, Omizo H, Yamazaki O, Tamura Y, Fujigaki Y, Kawachi H, Kuro-O M, Uchida S, Shibata S. Phosphate binding by sucroferic oxyhydroxide ameliorates renal injury in the remnant kidney model. **Sci Rep.** 9:1732, 2019.

【2020 年】

- 199.Takamura S, Fukusumi Y, Zhang Y, Narita I, Kawachi H. Partitioning-Defective-6-Ephrin-B1 Interaction Is Regulated by Nephrin-Mediated Signal and Is Crucial in Maintaining Slit Diaphragm of Podocyte. **Am J Pathol.** 190:333-346, 2020.
- 200.Kawachi H, Fukusumi Y. New insight into podocyte slit diaphragm, a therapeutic target of proteinuria. **Clin Exp Nephrol.** 24:193-204, 2020. (review)
- 201.Miyamoto M, Kuzuya A, Noda Y, Ueda S, Asada-Utsugi M, Ito S, Fukusumi Y, Kawachi H, Takahashi R, Kinoshita A. Synaptic Vesicle Protein 2B Negatively Regulates the Amyloidogenic Processing of AβPP as a Novel Interaction Partner of BACE1. **J Alzheimers Dis.** 75:173-185, 2020.

【2021 年】

- 202.Fukusumi Y, Yasuda H, Zhang Y, Kawachi H. Nephrin-Ephrin-B1-Na⁺/H⁺ Exchanger Regulatory Factor 2-Ezrin-Actin Axis Is Critical in Podocyte Injury. **Am**

J Pathol. 191:1209-1226, 2021.

- 203.Ivanov V, Fukusumi Y, Zhang Y, Yasuda H, Kitazawa M, Kawachi H. Synbindin Downregulation Participates in Slit Diaphragm Dysfunction. **Am J Nephrol.** 52:620-629, 2021.
- 204.Tanoue A, Katayama K, Ito Y, Joh K, Toda M, Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, Kawachi H, Yan K, Ito M, Gabazza EC, Tryggvason K, Dohi K. Podocyte-specific Crb2 knockout mice develop focal segmental glomerulosclerosis. **Sci Rep.** 11:20556, 2021.
- 205.Yasuda H, Fukusumi Y, Ivanov V, Zhang Y, Kawachi H. Tacrolimus ameliorates podocyte injury by restoring FK506 binding protein 12 (FKBP12) at actin cytoskeleton. **FASEB J.** 35:21983, 2021.
- 206.Zhang Y, Fukusumi Y, Kayaba M, Nakamura T, Sakamoto R, Ashizawa N, Kawachi H. Xanthine oxidoreductase inhibitor topiroxostat ameliorates podocyte injury by inhibiting the reduction of nephrin and podoplanin. **Nefrologia.** 41:539-547, 2021.

【2022 年】

- 207.Watanabe S, Zhang Y, Fukusumi Y, Yasuda H, Takada A, Kazama JJ, Kawachi H. Th17 Cells Participate in Thy1.1 Glomerulonephritis Which Is Ameliorated by Tacrolimus. **Am J Nephrol.** 53:388-396, 2022.

【2023 年】

- 208.Yasuda H, Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. 14-3-3 Proteins stabilize actin and vimentin filaments to maintain processes in renal glomerular podocyte. **FASEB J.** 37:23168, 2023.

【2024 年】

- 209.Fujioka K, Nagai T, Hattori T, Kagami S, Yasutomo K, Galjart N, Hirayama T, Kawachi H, Urushihara M. Renin-angiotensin blockade ameliorates the progression of glomerular injury in podocyte-specific Ctf knockout mice. **Nephrology.** 29:815-824, 2024.

【2025 年】

- 210.Zhang Y, Fukusumi Y, Yasuda H, Chang G, Kayaba M, Kawachi H. Cdc42 Activation in Antinephrin Antibody-Induced Nephropathy. **J Am Soc Nephrol.** 36:2164-2176, 2025.

和文論文・総説・著書

【1989 年】

1. 河内裕, 清水不二雄: 糸球体腎炎. 臨床医, 15:1696-1698, 1989.

【1990 年】

2. 岡空輝夫, 白木和夫, 佐藤武司, 河内裕, 山崎一郎, 森岡哲夫, 追手巍, 清水不二雄: 健常ラットにおける運動量増加の誘導. 医学のあゆみ, 153:455-456, 1990.
3. 小田良彦, 渡辺徹, 永山善久, 阿部時也, 佐藤雅久, 石塚利江, 高田恒朗, 柳原俊雄, 清水不二雄, 追手巍, 河内裕: Detailed examination of the children picked up through screening school urinalysis in 1989. 新潟市民病院医誌, 11:163-170, 1990.

【1991 年】

4. 清水不二雄, 河内裕: 単クローン抗体惹起腎症. 腎と透析, 31:282-287, 1991.

【1997 年】

5. 摺木陽久, 鈴木健司, 馬場靖幸, 長谷川勝彦, 稲田勢介, 佐藤祐一, 望月剛, 杉村一仁, 本間照, 成澤林太郎, 金澤寛明, 河内裕, 清水不二雄, 朝倉均: マウスレトロウイルスによる実験性腸炎モデルの確立ー腸炎惹起細胞の解析ー: 消化器と免疫, 34:98-101, 1997.

【1998 年】

6. 河内裕, 清水不二雄: 腎とアポトーシス. 医学のあゆみ, 187:486-489, 1998.

【2000 年】

7. 河内裕, 清水不二雄: Nephrin とネフローゼ. 医学のあゆみ, 193:66-70, 2000.
8. 清水不二雄, 河内裕: プラクティカル内科シリーズ 10「腎炎・ネフローゼ」. 南江堂, 2000.

【2001 年】

9. 河内裕: Annual Review 腎臓 2001. 34-39, 2001.

【2002 年】

10. 清水不二雄, 河内裕: 糸球体バリアの構造と機能-蛋白尿のメカニズム-. Medical Practice, 19:448-449, 2002.
11. 河内裕: 専門医のための腎臓病学. 医学書院, 2002

【2003 年】

12. 清水不二雄, 河内裕: 蛋白尿発現の分子機構: ネフリンのネフローゼ症候群における臨床的意義. 日本内科学会誌, 92:159-165, 2003.
13. 河内裕: 腎疾患 State of arts 2003-2005. 医歯薬出版, 2003.
14. 河内裕: 内科キーワード 2003. 南江堂, 2003.

【2005 年】

15. 河内裕, 鈴木浩一: ネフローゼ症候群のすべて. 東京医学社, 2005.
16. 河内裕: 先端医療シリーズ 34「小児科の新しい流れ」. 先端医療技術研究所, 2005.

【2006 年】

17. 河内裕, 宮内直子, 韓基東: 分子腎臓病学. 日本臨床社, 2006.

【2007 年】

18. 河内裕, 宮内直子: スリット膜関連分子の異常による蛋白尿. 腎と透析, 62:370-373, 2007.
19. 鈴木浩一, 河内裕: 糸球体上皮細胞関連分子への angiotensin II の作用. 腎と透析, 63:401-405, 2007.
20. 河内裕: スリット膜関連分子の解明と臨床病態. 日腎会誌, 49:77-81, 2007.
21. 河内裕: 蛋白尿の成因-最近の進歩. 総合臨床, 56:155-156, 2007.
22. 河内裕: 糸球体濾過とその調節機構: 構造と機能. 細胞, 39:190-194, 2007.
23. 河内裕: ネフローゼ症候群. ネフロロジーフロンティア, 6:128-139, 2007.

【2008 年】

24. 河内裕: ポドサイトの生物学 はじめに. 医学のあゆみ, 226:521-522, 2008.
25. 河内裕: 蛋白尿発症メカニズムの解明-新規治療法開発に向けた取り組み-. 新潟県医師会報 別冊, 699:1-6, 2008.
26. 河内裕, 清水不二雄: 糸球体上皮細胞障害(傷害)・糸球体硬化の進行機序. 腎と透析, 64:235-237, 2008.
27. 河内裕, 宮内直子: スリット膜構造についての最近の知見. 腎と透析,

64:238-242, 2008.

【2009 年】

28. 河内裕：糸球体におけるシグナル伝達. ポドサイトでのシグナル伝達とネフローゼ症候群. 腎と透析, 67:307-310, 2009.
29. 河内裕, 長田道夫：動物実験モデル ヒト腎症の病態理解に果たす役割 1. メサングウム増殖性腎炎. 腎臓, 32:147-152, 2009.
30. 河内裕：専門医のための腎臓病学 第2版. 医学書院, 2009.

【2010 年】

31. 長田道夫, 河内裕：巣状分節性糸球体硬化症. 腎臓, 32:225-229, 2010.
32. 河内裕, 長田道夫：抗糸球体基底膜抗体腎炎. 腎臓, 33:47-50, 2010.
33. 長田道夫, 河内裕：糖尿病性腎症. 腎臓, 33:146-152, 2010.
34. 河内裕：糸球体上皮細胞の機能分子-蛋白尿の新規治療法開発のためのターゲット分子の探索. 腎と透析, 68:201-204, 2010.
35. 河内裕：ネフローゼ症候群：治療の現状と今後の展望. 腎と透析, 68:405-421, 2010.
36. 河内裕, 富田雅之：疾患モデルの作製と利用 循環器疾患. エル・アイ・シー, 2010.
37. 河内裕：病態の仕組みがよくわかる免疫学. 医学書院, 2010.

【2011 年】

38. 河内裕, 長田道夫：膜性腎症（特発性膜性腎症）. 腎臓, 33:227-231, 2011.
39. 長田道夫, 河内裕：ループス腎炎モデル. 腎臓, 34:48-53, 2011.

【2012 年】

40. 河内裕：腎臓症候群 第2版 上. 日本臨床社, 2012.

【2013 年】

41. 河内裕, 高橋彩, 山崎美穂子, 福住好恭, 富田雅之：腎糸球体上皮細胞（ポドサイト）スリット膜の構造と機能－ARB のポドサイト保護作用－. Medica, 31:98-100, 2013.

【2014 年】

42. 金子博司, 河内裕：微小変化型ネフローゼ症候群の病態発症機序, 診断マーカーの有用性についての検討 - ラット Puromycin aminonucleoside 腎症に

おける各種ポドサイト機能分子の発現解析 - . 新潟医学会雑誌, 128:301-313, 2014.

43. 河内裕, 福住好恭 : 糸球体濾過障壁と蛋白尿. 腎と透析, 76:791-795, 2014.

44. 河内裕, 福住好恭 : 糸球体性蛋白尿の発症機序. *Medicina*, 51:1567-1569, 2014.

【2017 年】

45. 河内裕 : 小児腎臓病学 改訂第 2 版. 診断と治療社, 2017.

【2021 年】

46. 内許玉楓, 河内裕 : プライマリーカルチャー樹立法. 腎と透析, 91:965-969, 2021.

【2022 年】

47. 河内裕 : 蛋白尿発症の分子メカニズムーネフローゼ症候群の成因. 医学のあゆみ, 282:156-157, 2022.

【2023 年】

48. 河内裕 : 専門医のための腎臓病学 第 3 版. 医学書院, 2023.

49. 河内裕 : 病因・病態生理から読み解く腎・泌尿器疾患のすべて. 腎と透析, 95:6-11, 2023.

【2025 年】

50. 河内裕 : 糸球体上皮細胞と腎症・腎炎モデル. 腎と透析, 98:319-324, 2025.

学術集会発表

A. 国際学会

【1988年】

21th Annual meeting of American Society of Nephrology (1988 年 12 月 11 日～14 日, San Antonio, USA)

- 1.Kawachi H, Matsui K, Orikasa M, Morioka T, Oite T, Shimiz F. Quantitative study of proteinuria inducing monoclonal antibody 5-1-6.

【1989 年】

22th Annual meeting of American Society of Nephrology (1989 年 12 月 3 日～6 日, Washington DC, USA)

- 2.Kawachi H, Orikasa M, Matsui K, Morioka T, Oite T, Shimizu F. Induction of proteinuria and morphological changes in the rat by a monoclonal antibody against mesangial cell.

【1990年】

11th International Congress of International Society of Nephrology (1990 年 7 月 15 日～20 日, Tokyo, Japan)

- 3.Kawachi H, Orikasa M, Matsui, K Morioka T, Sato T, Yamazaki I, Oite T, Shimizu F. Induction of proteinuria and morphological changes by a monoclonal antibody 1-22-3 alteration of antigen distribution.
- 4.Shimizu F, Kawachi H, Sato T, Orikasa M, Matsui K, Morioka T, Oite T. A new type of renal lesions induced in rats by administration of two proteinuria-inducing monoclonal antibodies.
- 5.Oite T, Kagami S, Morioka T, Sato T, Kawachi H, Shimizu F. In situ experimental glomerulonephritis using the hapten-carrier system.
- 6.Kagami S, Matsui, K Okada K, Funai M, Kuroda Y, Kawachi H, Morioka T, Oite T, Shimizu F. Monoclonal antibody (mAb) recognizing a unique human mesangial antigen.

23th Annual meeting of American Society of Nephrology (1990 年 12 月 2 日～5 日, Washington DC, USA)

- 7.Kawachi H, Orikasa M, Toyabe S, Iwanaga T, Matsui K, Oite T, Shimizu F. Induction of sclerotic changes in the rat by a monoclonal antibody 1-22-3.

【1991 年】

11th European Immunology Meeting (1991 年 6 月 10 日～12 日, Helsinki, Finland)

8. Shimizu F, Kawachi H, Matsui K, Orikasa M, Oite T. Glomerular injuries induced by an epitope specific interaction.

【1992年】

25th Annual meeting of American Society of Nephrology (1992 年 11 月 15 日～18 日, Baltimore, USA)

9. Kuroda T, Kawasaki K, Oite T, Arakawa M, Shimizu F. cCll-transfer study in nude rats reveals significance of cell-mediated immunity in nephrotoxic serum nephritis (NTN).

【1993 年】

12th International Congress of International Society of Nephrology (1993 年 6 月 13 日～18 日, Jerusalem, Israel)

10. Narisawa M, Kawachi H, Oite T, Shimizu F. Necessity of divalency of monoclonal antibody (mAb) 5-1-6 to induce proteinuria in rat.

26th Annual meeting of American Society of Nephrology (1993 年 11 月 14 日～17 日, Boston, USA)

11. Sakatsume M, Nakagawa Y, Takeda T, Yamazaki H, Meguro H, Kawachi H, Fujio Shimizu F, Arakawa M. The modulation of matrix synthesis and degradation in experimental mesangial sclerosis induced by monoclonal antibody (moAb) 1-22-3.

【1995 年】

13th International Congress of International Society of Nephrology (1995 年 7 月 2 日～6 日, Madrid, Spain)

12. Qian S, Orikasa M, Kawachi H, Morioka T, Oite T, Shimizu F. Progressive sclerotic renal lesions induced in rats by administration of two proteinuria-inducing monoclonal antibodies.

28th Annual meeting of American Society of Nephrology (1995 年 11 月 5 日～8 日, San Diego, USA)

13. Kawachi H, Brown D, Shia MA, Shimizu F, Salant DJ. Immunolocalization of the nephritogenic antigen of monoclonal antibody (mAb) 5-1-6.
14. Nakamura H, Kimura H, Obata J, Ikeda Y, Kuroyanagi R, Kawachi H, Shimizu F.

angiotensin II (ang II) blockade prevents the progression of experimental mesangial proliferative nephritis in rats.

【1996 年】

29th Annual meeting of American Society of Nephrology (1996 年 11 月 3 日～6 日, New Orleans, USA)

15. Kawachi H, Brown D, Ahia MA, Oriksa M, Shimizu F, Salant DJ. The distribution of p51 and ZO-1, two podocyte slit-diaphragm components is altered during proteinuria induced by monoclonal antibody 5-1-6.
16. Kobayashi H, Kawachi H, Morioka T, Kawasaki K, Oite T, Nihei H, Shimizu F. Detailed analysis of phenotypes of macrophages infiltrating glomeruli in rat anti-Thy1 nephritis.
17. Murakami S, Oite T, Narisawa Saito M, Morioka T, Arakawa M, Shimizu F. (Intro. by Kawachi K). A specific Thy-1.1 molecular epitope expressed on rat Mesangial cells.
18. Nakamura T, Obata J, Ohno S, Yoshida Y, Kawachi H, Shimizu F. Blocking angiotensin II reduces proteinuria, glomerulosclerosis, glomerular expression of transforming growth factor- β and type IV collagens in rat progressive mesangioproliferative glomerulonephritis.
19. Nakayama H, Oite T, Kobayashi H, Kawachi H, Morioka T, Oriksa M, Arakawa M, Shimizu F. Epitope specific induction of two types of anti-Thy-1.1 nephritis by monoclonal antibodies.
20. Oomori S, Oite T, Wakasugi M, Morioka T, Kawachi H, Arakawa M, Shimizu F. Quantification of apoptotic cells using isolated glomeruli.
21. Kitamura M, Kawachi H. Creation of a cytosensor system by genetically engineered mesangial cells: automatic sensing of glomerular inflammation and subsequent control of transgene activity.

【1997 年】

14th International Congress of International Society of Nephrology (1997 年 5 月 25 日～29 日, Sydney, Australia)

22. Li P, Kawachi H, Oriksa M and Shimizu F. Suppressive effects of sairei-to on mAb 1-22-3 induced glomerulonephritis: analysis of effective components.
23. Nakamura T, Obata J, Ohno S, Kawachi H, and Shimizu F. Blocking angiotensin II reduces proteinuria glomerulosclerosis, glomerular expression of transforming growth factor- β (TGF- β) and mesangioproliferative glomerulonephritis.

【1998 年】

31th Annual meeting of American Society of Nephrology (1998 年 10 月 25 日～28 日, Philadelphia, USA)

- 24.Kawachi H, Shia M.A., Orikasa M, Salant D, Shimizu F. CaM dependent redistribution of two slit diaphragm components p51 and ZO-1 caused proteinuria.
- 25.Kawachi H, Kobayashi H, Natori Y, Natori Y, Yamamoto T, Takeya M, Orikasa M, Shimizu F. Monocyte accumulation attracted by MCP-1 have the beneficial role to prevent the irreversible mesangial alterations.
- 26.Kikuchi H. Kawachi H, Saito A, Orikasa M, Arakawa M, Shimizu F. Severe proteinuria sustained for six months induced tubular epithelial cell injury and cell infiltration but did not interstitial fibrosis.
- 27.Nakamura T, Obata J, Kawachi H, Shimizu F. Benidipine prevents the progression to end-stage renal failure (ESRF) in progressive mesangioproliferative glomerulonephritis (GN) rats.
- 28.Uchida K, Kobayashi H, Nitta K, Yumura W, Kawachi H, Orikasa M, Shimizu F, Nihei H. Expression of SMAD 6 and SMAD 7 in the glomerular endothelial cells in the rat kidney and their regulation in the experimental glomerulonephritis.

【1999 年】

15th International Congress of International Society of Nephrology (1999 年 5 月 7 日～9 日, Buenos Aires, Argentina)

- 29.Orikasa M, Kawachi H, Li P, Kobayashi H, Nakayama H, Shimizu F. Murine monoclonal antibody reactive to crescent-forming cells.

32th Annual meeting of American Society of Nephrology (1999 年 11 月 5 日～8 日, Miami Beach, USA)

- 30.Kawachi H, Koike H, Yaoita E, Yamamoto T, Shia MA, Orikasa M, Salant DJ, Shimizu F. Cloning of rat Nephrin and its expression and localization in proteinuric states.
- 31.Topham PS, Kawachi H, Haydar SA, Chugh S, Addona T, Holzman LB, Shia M, Shimizu F, Salant DJ. Nephritogenic monoclonal antibody (mAb) 5-1-6 is directed against the extracellular domain of rat nephrin.
- 32.Ikezumi Y, Kawachi H, Toyabe S, Uchiyama M, Shimizu F. Treatment with an anti-CD5 monoclonal antibody ameliorates proteinuria and glomerular lesions in rat mesangioproliferative glomerulonephritis.
- 33.Ito Y, Kawachi H, Ikezumi Y, Oyanagi A, Natori Yu, Natori Ya, Gejo F, Shimizu F. Essential role of fractalkine in induction of the irreversible mesangioproliferative

glomerulonephritis in rat.

34. Ostendorf T, Kunter U, Groene HJ, Kawachi H, Shimizu F, Koch KM, Janjic N, Floege J. Specific antagonism of PDGF prevents renal scarring in experimental glomerulonephritis.
35. Uchida K, Kobayashi H, Nitta K, Yumura W, Kawachi H, Orikasa M, Shimizu F, Nihei H. Regulated expression of smads in the glomeruli of rat Thy-1 glomerulonephritis.
36. Tamaki K, Tamai O, Fujisawa M, Itoh S, Kawachi H, Shimizu F, Imaizumi T, Heldin CH, Dijke PT, Okuda S. Transforming growth factor (TGF)- β 1 induced phosphorylation of smad2 in mesangial cells in vitro and in vivo.

【2000 年】

33th Annual meeting of American Society of Nephrology (2000 年 11 月 5 日～8 日, Toronto, Canada.)

37. Kawachi H, Koike H, Shimizu F. Nephrin is essential for barrier function of slit diaphragm (SD), but not for the maintenance of structural integrity of SD.
38. Koike H, Kawachi H, Shimizu F. Expression of nephrin in rat metanephric organ culture.
39. Ikezumi Y, Kawachi H, Uchiyama M, Shimizu F. FK506 ameliorates proteinuria and glomerular lesions induced by anti-Thy 1.1 monoclonal antibody 1-22-3.
40. Ikezumi Y, Kawachi H, Toyabe S, Uchiyama M, Shimizu F. Essential role of T lymphocytes in the development of the progressive mesangial alteration.
41. Kobayashi T, Yaoita E, Yamauchi A, Kawachi H, Shimizu F, Inoue T, Watanabe Y, Okada H, Suzuki H, Yamamoto T. Na⁺/ myo-inositol cotransporter (SMIT) upregulation in podocytes in puromycin aminonucleoside nephrosis (PAN).

【2001 年】

3th International Podocyte Conference (2001 年 9 月 27 日～28 日, Heidelberg, Germany)

42. Kawachi H, Shimizu F. Pathogenetic mechanisms after mAb 5-1-6 binding to nephrin.

34th Annual meeting of American Society of Nephrology (2001 年 10 月 12 日～17 日, San Francisco, USA)

43. Kawachi H, Koike H, Shimizu F. Cloning of rat podocin, and the expression of podocin and slit diaphragm associated proteins, Nephrin, CD2AP and ZO-1 in rat experimental proteinuric states.
44. Tomita M, Ikezumi Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Decreased expression of metalloproteinase (MMP) 9 is essential for bringing on the irreversible mesangial

sclerosis.

45. Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Expression of slit diaphragm associated proteins, Nephrin, CD2AP, ZO-1 and podocin in rat embryo and metanephric organ culture.
46. Kasuga H, Ito Y, Kawachi H, Shimizu F, Yuzawa Y, Matsuo S. Effect of fully human anti-TGF- β type II receptor antibody on experimental proliferative glomerulonephritis.
47. Morioka Y, Koike H, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Podocyte Injuries Exaggerate the Mesangial Proliferative Glomerulonephritis.
48. Nagatoya K, Moriyama T, Takeji M, Ando A, Horio M, Kawachi H, Shimizu F, Imai E, Hori M. FasudilR, a specific inhibitor of ROCK, prevented glomerular damage in rat kidneys with anti-Thy 1 glomerulonephritis.
49. Kanno K, Hara M, Morioka Y, Koike H, Kawachi H, Shimizu F, Uchiyama M. Quantification of urinary sediment podocalyxin by ELISA reflects the podocyte injury in children with glomerular disease.
50. Schaier M, Liebler S, Schade K, Kuebert H, Shimizu F, Kawachi H, Grone HJ, Chandraratna R, Ritz E, Wagner J. Regression of renal disease by retinoids- RAR- and RXR-Agonist treatment in established chronic glomerulonephritis.
51. Nakamura H, Isaka Y, Tsujie M, Akagi Y, Kawachi H, Shimizu F, Imai E, Hori M. Inhibition of transforming growth factor- β expression by electroporation-mediated DNA enzyme transfer suppressed extracellular matrix accumulation in experimental glomerulonephritis.

【2002 年】

4th International Podocyte Conference (2002 年 9 月 19 日～20 日, Niigata, Japan)

52. Cao Z, Kawachi H, Shimizu F, Cooper ME. Angiotensin type 2 receptor antagonism attenuates deficient nephrin expression in a rat model of progressive renal injury.
53. Han GD, Koike H, Nakatsue T, Suzuki K, Narumi S, Shimizu F, Kawachi H. IFN- γ -inducible protein-10(CXCL10) has a novel potential ability to protect podocyte in Thy-1.1 glomerulonephritis.
54. Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Expression of slit diaphragm associated proteins in rat embryo and metanephric organ culture.
55. Narita I, Goto S, Saito N, Song J, Shirasaki A, Morioka Y, Omori K, Ueno M, Kawachi H, Shimizu F, Sakatsume M, Gejyo F. Genetic polymorphism of NPHS1 G349A modifies the clinical and histological manifestations of IgA nephropathy.
56. Suzuki A, Ito A, Yamato M, Iwatani H, Kawachi H, Shimizu F, Imai E. Retinoids-dependent repair of podocytes in the puromycin aminonucleoside-induced nephrosis

rat.

35th Annual meeting of American Society of Nephrology (2002 年 10 月 30 日～11 月 4 日, Philadelphia, USA)

57. Kawachi H, Koike H, Shimizu F. Cloning of rat CD2-associated protein (CD2AP), and the expression of CD2AP and its related proteins nephrin and podocin in rat experimental proteinuric states.
58. Han GD, Koike H, Nakatsue T, Suzuki K, Narumi S, Shimizu F, Kawachi H. IFN- γ -inducible protein-10(CXCL10) has a novel potential ability to protect podocyte in Thy-1.1 glomerulonephritis.
59. Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Puromycin aminonucleoside disturbs the maturation of slit diaphragm: In vitro analysis with metanephric organ culture.
60. Nakatsue T, Koike H, Han GD, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Expression of podocyte associated proteins in passive Heymann nephritis: Not the alteration of integrin but that of Slit diaphragm is essential for proteinuria.

【2003 年】

17th International Congress of International Society of Nephrology (2003 年 6 月 8 日～12 日, Berlin, Germany)

61. Nakatsue T, Koike H, Han GD, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Expression of podocyte associated proteins in passive and active Heymann nephritis: Not the alteration of integrin but that of slit diaphragm associated proteins is essential for proteinuria.
62. Han GD, Koike H, Nakatsue T, Shimizu F, Kawachi H. The role of interferon-inducible protein (IP-10) on pan nephropathy.
63. Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Establishment of a novel metanephric organ culture system for investigation of slit diaphragm formation.
64. Kagami S, Urushihara M, Kondo S, Kitamura A, Shimizu M, Tamaki T, Kawachi H, Shimizu F, Kuroda Y. Activation of integrin-linked kinase (ILK) in mesangioproliferative glomerulonephritis in rats.
65. Kraemer S, Martini S, Woydt R, Rueckert M, Wang Y, Daig U, Shimizu F, Kawachi H, Neumayer H-H, Peters H. MMF is effective as enalapril in slowing the progression of chronic anti-Thy-1 glomerulonephritis.

36th Annual meeting of American Society of Nephrology (2003 年 11 月 12 日～17 日, San Diego, USA)

66. Suzuki K, Koike H, Han GD, Nakatsue T, Shimizu F, Kawachi H. Angiotensin II receptor antagonist prevents the reduction of nephrin expression and attenuates proteinuria in anti-nephrin monoclonal antibody 5-1-6 induced nephropathy.
67. Han GD, Koike H, Suzuki K, Nakatsue T, Shimizu F, Kawachi H. Neutralization of IP-10 exacerbates anti-nephrin monoclonal antibody 5-1-6 induced nephropathy.
68. Nakatsue T, Koike H, Han GD, Suzuki K, Yuan H, Salant DJ, Gejyo F, Shimizu F, Kawachi H. Nephrin Is dissociated from podocin in experimental membranous nephropathy.
69. Tanaka H, Terada Y, Okado T, Inoshita S, Kuwahara M, Teraoka H, Kawachi H, Sasaki S. Induction of podocytes from mouse embryonic stem cells.
70. Kanda Y, Matsumoto N, Kosuga M, Kojima K, Matsui K, Kawachi H, Shimizu F, Uchida S. Downregulation of the podocyte-related proteins in the mild stage of streptozotocin-induced diabetic rats.
71. Tsuji M, Monkawa T, Yoshino J, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T. A gene cluster of kidney injury molecules was identified by microarray analysis of reversible and irreversible Thy-1 glomerulonephritis.
72. Takabatake Y, Isaka Y, Mizui M, Kawachi H, Shimizu F, Ito T, Imai E, Hori M. Inhibition of TGF- β 1 expression by RNA interference in experimental glomerulonephritis.
73. Kondo S, Kagami S, Shimizu M, Kitamura A, Quinn M T, Kawachi H, Shimizu F, Kuroda Y. Role of Gp91phox-containing NADPH oxidase in progressive model of rat mesangioproliferative glomerulonephritis (GN).
74. Kraemer S, Martini S, Rueckert M, Wang Y, Shimizu F, Kawachi H, Neumayer H-H, N, Peters H. MMF in progressive anti-Thy1 nephritis. is it as good as the gold standard ACE inhibition?

【2004 年】

12th International Congress on Nutrition and Metabolism in Renal Disease (2004 年 6 月 19 日～22 日, Venice・Padua, Italy)

75. Fujioka Y, Suzuki K, Nakatsue T, Han GD, Koike H, Kawachi H, Shimizu F. Effects of dietary protein amount on the progression of mesangioproliferative glomerulonephritis model.

37th Annual meeting of American Society of Nephrology (2004 年 10 月 29 日～11 月 1 日, St. Louis, USA)

76. Han GD, Suzuki K, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. IP-10 contributes to maintaining

the function of podocyte through keeping the cell cycle balance.

77. Suzuki K, Han GD, Ikezumi Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Mycophenolate mofetil attenuates proteinuria and ameliorates glomerular lesions in rat mesangioproliferative glomerulonephritis by preventing the recruitment of T lymphocytes into glomeruli.
78. Suzuki K, Han GD, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Angiotensin II type 1 receptor-mediated action decreases the expression of nephrin, and type 2 receptor-mediated action enhances it.
79. Karasawa T, Han GD, Suzuki K, Miyauchi N, Harita Y, Koike H, Uchiyama M, Shimizu F, Kawachi H. Synbindin and syndecan-2 are expressed on podocyte, and their expression is altered in proteinuric states.
80. Miyauchi N, Han GD, Suzuki K, Karasawa T, Harita Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Synaptic vesicle 2B(SV2B) interacts to slit diaphragm component and its decreased expression contributes to the development of proteinuria.
81. Miyauchi N, Han GD, Suzuki K, Karasawa T, Harita Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Dissociation of nephrin-podocin and nephrin-Fyn precedes proteinuria in puromycin aminonucleoside nephropathy and in anti-nephrin antibody-induced nephropathy.
82. Harita Y, Han GD, Suzuki K, Miyauchi N, Karasawa T, Koike H, Igarashi T, Shimizu F, Kawachi H. Transmembrane components of slit diaphragm redistribute from a cytoplasmic component, ZO1 and MAGI 1 in proteinuric states.

【2005 年】

18th International Congress of International Society of Nephrology (2004 年 6 月 26 日 ~30 日, Singapore)

83. Miyauchi N, Han GD, Suzuki K, Karasawa T, Harita Y, Koike H, Shimizu F, Kawachi H. Synaptic vesicle protein 2B(SV 2 B) interacts to slit diaphragm component.
84. Harita Y, Karasawa T, Miyauchi N, Suzuki K, Han GD, Koike H, Igarashi T, Shimizu F, Kawachi H. Altered expression of jam4 in injured podocytes-interaction of JAM4 with ezrin.
85. Saito A, Miyauchi N, Hashimoto T, Karasawa T, Harita Y, Fujioka Y, Suzuki K, Han GD, Koike H, Koitabashi Y, Shimizu F, Kawachi H. A postsynaptic adhesion molecule, neuroligin 1 is expressed in podocyte, and its expression is altered in proteinuric states.
86. Karasawa T, Han GD, Suzuki K, Miyauchi N, Harita Y, Koike H, Uchiyama M, Shimizu F, Kawachi H. Synbindin and its binding protein syndecan-2 are expressed

at the basal area of podocyte, and their altered expression contributes to the development of proteinuria.

87. Hashimoto T, Karasawa T, Saito A, Miyauchi N, Harita Y, Han GD, Koike H, Hayasaka K, Shimizu F, Kawachi H. EphrinB1 and ephrinB2 in proteinuric states and in developing glomeruli.
88. Koshikawa M, Mukoyama M, Sawa K, Yoshioka T, Yokoi H, Mori K, Suganami T, Kawachi H, Shimizu F, Sugawara A, Nakao K. Activation of p38 map kinase is essential for podocyte injury and proteinuria in experimental nephrotic syndrome.

38th Annual meeting of American Society of Nephrology (2005 年 11 月 8 日～13 日, Philadelphia, USA)

89. Takenaka T, Okada H, Kanno Y, Inoue T, Ryuzaki M, Nakamoto H, Kawachi H, Shimizu F, Suzuki H. Xeno-5' -nucleosidase improves glomerular autoregulation in Thy-1 nephritic rats.
90. Hara A, Wada T, Furuichi K, Sakai N, Kawachi H, Shimizu F, Yokoyama H, Kaneko S. The impact of VEGF via its receptors on urinary protein excretion in progressive nephropathy.
91. Tsuji M, Monkawa T, Yoshino J, Kawachi H, Shimizu F, Hayashi M, Saruta T. Thymosin β 10 and β 4 are involved in renal fibrosis through macrophage activation.
92. Wang Y, Kramer St, Loof T, Martini S, Kron S, Kawachi H, Shimizu F, Neumayer H-H, Peters H. Enhancing cGMP levels in anti-Thy-1-induced chronic-progressive glomerulosclerosis: Soluble guanylate cyclase stimulation versus phosphodiesterase inhibition.
93. Peters H, Kron S, Kramer St, Wang Y, Loof T, Martini S, Kawachi H, Shimizu F, Neumayer H-H. Targeting TGF- β overexpression in anti-Thy-1-induced, Chronic-progressive glomerulosclerosis: rosuvastatin is additive to high dose candesartan.
94. Miyauchi N, Karasawa T, Harita Y, Han GD, Shimizu F, Kawachi H. Synaptic vesicle associated proteins synaptotagmin 1 and syntaxin 1A were expressed in podocyte, and synaptotagmin 1 is associated with slit diaphragm.
95. Saito A, Miyauchi N, Hashimoto T, Karasawa t, Han GD, Koitabashi Y, Shimizu F, Kawachi H. Presynaptic adhesion molecule neurexin and its binding protein neuroligin are expressed in podocyte, and their expressions are altered in proteinuric states.
96. Ogawa A, Sakatsume M, Saga D, Tsubata Y, Bassam A, Kaneko Y, Kawachi H, Narita I, Shimizu F, Gejyo F. A smooth muscle cell marker, SM22 α , is expressed in severely injured podocytes in rat anti-glomerular basement membrane nephritis.

97. Fujioka Y, Suzuki K, Miyauchi N, Saito A, Karasawa T, Kawachi H, Shimizu F. A single simultaneous injection of two monoclonal antibodies induces novel progressive renal lesions by damaging podocytes and mesangial cells.
98. Takazawa Y, Maeshima Y, Kitayama H, Yamamoto Y, Kawachi H, Shimizu F, Sugiyama H, Yamasaki Y, Makino H. Chronic infusion of angiotensin- II accelerates glomerular capillary repair and resolution of anti-Thy-1.1 nephritis possibly via regulating angiogenic factors.
99. Ikezumi Y, Suzuki T, Okubo S, Nikolic-Paterson D.J, Kawachi H, Shimizu F, Uchiyama M. TNF α derived from activated macrophages down-regulates nephrin expression in glomerular epithelial cells.
100. Shibata S, Nagase, M, Yoshida S, Yago M, Kawachi H, Mundel P, Kaname S, Fujita T. Fluvastatin ameliorates podocyte and tubulointerstitial injuries in proteinuric rats via RhoA inactivation and anti-inflammatory actions.

【2006 年】

6th International Podocyte Conference (2006 年 6 月 8 日～11 日, Helsinki, Finland)

101. Saito A, Miyauchi N, Hashimoto T, Karasawa t, Han GD, Koitabashi Y, Shimizu F, Kawachi H. Neurexin, a presynaptic adhesion molecule, is expressed in glomerular podocytes: expression in developing glomeruli and proteinuric states.

39th Annual meeting of American Society of Nephrology (2006 年 11 月 14 日～19 日, San Diego, USA)

102. Otaki Y, Takada A, Higa M, Hashimoto T, Miyauchi N, Gejyo F, Kawachi H. Redistribution of the slit diaphragm is involved in the initiation event of focal segmental glomerulosclerosis (FSGS) - NEPH1 could be a useful marker of FSGS.
103. Higa M, Hashimoto T, Takada A, Otaki Y, Miyauchi N, Oota T, Kawachi H. Aminopeptidase A expression is altered in podocyte with injured podocytes.
104. Takada A, Higa M, Otaki Y, Hashimoto T, Miyauchi N, Kawachi H. Tacrolimus (FK506) treatment limited at the early phase ameliorates the late phase glomerular injury of rat prolonged glomerulonephritis.
105. Koop K, Eikmas M, Baelde H, Wehland M, Kreutz R, Kawachi H, Heer R. Selective loss of glomerular podoplanin protein is related to the spontaneous development of proteinuria in the Dahl salt-sensitive rat.
106. Ikezumi Y, Suzuki T, Narita I, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Histological differences in newly onset IgA nephropathy between children and adults.
107. Toyama T, Furuichi K, Kawachi H, Shimizu F, Wada T, Kaneko S. IFN-induced

protein 10 (CXCL10)/CXCR3 regulates tubular cell proliferation in renal ischemia-reperfusion injury.

108. Oba S, Suzuki E, Kaname S, Kawachi H, Kobayashi N, Hirata Y, Fujita T. TNF- α decreases the expression of PPAR γ whose agonist has the cytoprotective function to the podocyte injury.

【2007 年】

40th Annual meeting of American Society of Nephrology (2007 年 10 月 31 日～11 月 5 日, San Francisco, USA)

109. Otaki Y, Miyauchi N, Gejyo F, Kawachi H. Dissociation of NEPH1 from Nephrin Initiates Proteinuria in Rat FSGS Model.
110. Miyauchi N, Otaki Y, Kawachi H. Glomerular Podocyte Possesses Syntaxin-2/Epimorphin, and Injured Podocyte Secretes It into Urine.
111. Han GD, Miyauchi N, Karasawa T, Shimizu F, Kawachi H. An Actin-Binding Protein I-Plastin Located at the Basal Area of Podocyte and Its Expression Is Altered in the Slit Diaphragm Injury.
112. Eto N, Wada T, Inagi R, Takano H, Shimizu A, Kurihara H, Kawachi H, Kato H, Shankland SJ, Fujita T, Nangaku M. Darbepoetin Ameliorates Urinary Protein Excretion by Preservation of the Cytoskeleton and Nephrin Distribution in the Podocytes.
113. Fukami K, Yamagishi S, Ueda S, Kawachi H, Takeuchi M, Okuda S. Possible Involvement of AGE and MMP-2 in Podocyte Detachment and Loss.
114. Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Use of Mizoribine as a Rescue Drug for Steroid-Resistant Pediatric IgA Nephropathy.
115. Okada T, Sakaguchi T, Hatamura I, Kawachi H, Shigematsu T. Tolvaptan, a Selective Oral Vasopressin V2-Receptor Antagonist, Ameliorates Podocyte Injury in Puromycin Aminonucleoside Nephrosis Rats.

【2008 年】

41th Annual meeting of American Society of Nephrology (2008 年 11 月 4 日～9 日, Philadelphia, USA)

116. Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Effect of Mizoribine in Rat Steroid-Resistant Mesangial Proliferative Glomerulonephritis.
117. Fukuda A, Fujimoto S, Iwatsubo S, Kitamura K, Kawachi H. Effect of Mineralocorticoid and Angiotensin II Receptor Blockers on Proteinuria and

Glomerular Podocyte Protein Expression in a Model of Minimal Change Nephrotic Syndrome.

- 118.Mii A, Shimizu A, Masuda Y, Ishizaki M, Kawachi H, Iino Y, Katayama Y, Fukuda Y. Angiotensin II Receptor Blockade Inhibits Acute Glomerular Injuries in Glomerulonephritis with the Alteration of Receptors Expression.
- 119.Suzuki K, Otaki Y, Kawachi H. Podoplanin Is Expressed on Both Apical and Basal Surfaces of Podocyte, and Basal Podoplanin Plays a Role in Maintenance of Not Only the Foot Process Structure but Also the Barrier Function of Glomerular Capillary Wall.
- 120.Han GD, Miyauchi N, Ha TS, Shimizu F, Kawachi H. An Adhesion Molecule Ninjurin-II Is Expressed in the Podocyte and Its Expression Is Altered in Podocyte with Slit Diaphragm Dysfunction.
- 121.Shinozaki Y, Furuichi K, Kawachi H, Kaneko S, Wada T. A Chemokine, IFN-Induced Protein 10 (CXCL10), Is an Inhibitor on Tubular Cell Proliferation in Renal Ischemia-Reperfusion Injury.
- 122.Koshizaka M, Takemoto M, Yokote K, Yan K, Kawachi H, He L, Betsholtz C, Tryggvason K, Saito Y. Characterization of a Novel Podocyte Specific Gene, R3hdm1.
- 123.Kondo S, Suka K, Matsuura S, Kinoshita Y, Urushihara M, Tamaki T, Kawachi H, Kagami S. The Expression of Hic-5 Is Involved in the Development of Progressive Glomerulonephritis in the Rat.

【2009 年】

42th Annual meeting of American Society of Nephrology (2009 年 10 月 27 日～11 月 1 日, San Diego, USA)

- 124.Suzuki K, Sumi T, Matsui K, Kawachi H. Expression of Podoplanin in MCNS: Urinary Podoplanin Is a Novel Marker To Predict Podocyte Injury.
- 125.Han GD, Kawachi H, Ha TS. Expression of Glomerular I-Plastin Restrictedly Expressed at the Basal Area of the Podocyte Was Decreased in Diabetic Podocyte Injury.
- 126.Miyasato K, Takabatake Y, Kaimori J, Kimura T, Takahashi A, Kawachi H, Li X-K, Hünig T, Imai E, Rakugi H, Isaka Y. A Superagonistic Monoclonal Antibody for CD28-Induced Expansion of Regulatory T Cells Ameliorates Experimental Mesangioproliferative Glomerulonephritis in Rats.
- 127.Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Hasegawa H, Narita I, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Alternatively Activated Macrophages (M2) in IgA

Nephropathy.

【2010 年】

ISN NEXUS symposium (2010 年 4 月 15 日～18 日, Kyoto, Japan)

- 128.Tomita M, Sumi T, Suzuki K, Yamazaki M, Kawachi H. Anti-proteinuric effect of tacrolimus: Studies in the experimental nephropathies resulted from podocyte injury.
- 129.Suzuki K, Sumi T, Matsui K, Tomita M, Kawachi H. Podoplanin is essential for maintaining the barrier function and the structure of podocyte.

43th Annual meeting of American Society of Nephrology (2010 年 11 月 16 日～21 日, Denver, USA)

- 130.Hasegawa H, Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Kawachi H, Nikolic-Paterson DJ, Uchiyama M. Corticosteroids Augment Cyclosporine Nephrotoxicity in Childhood Nephrotic Syndrome: Potential Role of Alternatively Activated Macrophages.
- 131.Tomita M, Hossain M, Yamazaki M, Kawachi H. Upregulation of Calcineurin Is Involved in the Development of PAN Nephropathy, an MCNS Model.
- 132.Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, Hasegawa H, Kawachi H, Nishimura H, Uchiyama M. Is Low Birth Weight a Signal for Podocyte Damage and a Risk Factor for Secondary Focal Segmental Glomerulosclerosis?

【2011 年】

ISN Forefront Symposium (2011 年 9 月 22 日～25 日, Aarhus, Denmark)

- 133.Murad H, Tomita M, Yamazaki M, Fukusumi Y, Kawachi H. Ephrin-B1 is expressed at the slit diaphragm and is structurally and functionally interacted with nephrin.

44th Annual meeting of American Society of Nephrology (2011 年 11 月 8 日～13 日, Philadelphia, USA)

- 134.Murad H, Tomita M, Yamazaki M, Fukusumi Y, Kawachi H. Ephrin-B1 in podocyte is interacted with nephrin and is phosphorylated by a signal from nephrin.

【2012 年】

9th International Podocyte Conference (2012 年 4 月 22 日～25 日, Miami, USA)

- 135.Tomita M, Yamazaki M, Fukusumi Y, Takahashi Y, Takahashi A, Kayaba M, Kitazawa Y, Hashimoto T, Kawachi H. Ephrin-B is interacted with nephrin and plays an important role in the slit diaphragm. -Decreased expression of ephrin-B is an early marker to detect slit diaphragm dysfunction-.

45th Annual meeting of American Society of Nephrology (2012 年 10 月 30 日～11 月 4 日, San Diego, USA)

136. Takahashi Y, Yamazaki M, Takahashi A, Takasaki A, Fukusumi Y, Tomita M, Kawachi H. Role of p38 MAPK Activation in the Slit Diaphragm Dysfunction and Proteinuria Caused by a Direct Stimulation to Nephrin.
137. Yamazaki M, Takahashi A, Takahashi Y, Fukusumi Y, Tomita M, Kawachi H. Glomerular Expression of Renin-Angiotensin System Components in Rats with Podocyte Dysfunction.

【2013 年】

46th Annual meeting of American Society of Nephrology (2013 年 11 月 5 日～10 日, Atlanta, USA)

138. Wakamatsu A, Takasaki A, Takahashi Y, Fukusumi Y, Tomita M, Narita I, Kawachi H. Calcineurin Is Mainly Localized at the Slit Diaphragm Area, and Its Altered Expression Precedes Proteinuria in Rat Nephrotic Syndrome Models.
139. Takahashi Y, Kamada H, Takasaki A, Wakamatsu A, Fukusumi Y, Tomita M, Kawachi H. Rituximab Ameliorates Proteinuria in Rat Adriamycin Nephropathy Independently with Its Action to B Lymphocyte.
140. Fukusumi Y, Takasaki A, Wakamatsu A, Takahashi Y, Miyauchi N, Tomita M, Kawachi H. Synaptic Vesicle Protein 2B Is Essential for Maintaining the Integrity of the Podocyte Slit Diaphragm; SV2B KO Mice Are Vulnerable to the Podocyte Injury.
141. Yanagita M, Yamada S, Nakamura J, Asada M, Takase M, Matsusaka T, Iguchi T, Yamada R, Kawachi H, Muso E, Aris N. Economides Twisted Gastrulation, a BMP Antagonist, Exacerbates Podocyte Injury.

【2014 年】

10th International Podocyte Conference (2014 年 6 月 4 日～6 日, Freiburg, Germany)

142. Fukusumi Y, Takashima N, Wakamatsu A, Hasegawa E, Miyauchi N, Kawachi H. Synaptic Vesicle Protein 2B is Essential for the Maintenance of the Integrity of the Slit Diaphragm.

47th Annual meeting of American Society of Nephrology (2014 年 11 月 11 日～16 日, Philadelphia, USA)

143. Hasegawa E, Fukusumi Y, Wakamatsu A, Takashima N, Narita I, Kawachi H. Fingolimod (FTY720), an Analog of Sphingosine Inhibited the Reduced Expression

- of the Slit Diaphragm Molecules and Ameliorated Proteinuria in PAN Nephropathy.
- 144.Fukusumi F, Takashima N, Wakamatsu A, Hasegawa E, Kawachi H. Synaptic-Like-Microvesicle Regulated by SV2B in Podocyte Plays a Role in Intracellular Trafficking of Slit Diaphragm Molecules and Exocytosis of GBM Components.

【2015 年】

48th Annual meeting of American Society of Nephrology (2015 年 11 月 3 日～8 日, San Diego, USA)

- 145.Fukusumi Y, Kawachi H. Identification of Differentially Expressed Genes in Rat Puromycin Aminonucleoside (PAN) Nephropathy, a Mimic of MCNS with Next-Generation Sequencing.
- 146.Fukusumi Y, Kawachi H. Ephrin-B1 Is Essential for the Formation and the Maintenance of the Integrity of the Slit Diaphragm Component: Inducible Podocyte-Specific Ephrin-B1 Deletion Causes Irregular Localization of Nephrin, NEPH1, CD2AP and ZO-1.

【2016 年】

49th Annual meeting of American Society of Nephrology (2016 年 11 月 15 日～20 日, Chicago, USA)

- 147.Zhang Y, Fukusumi Y, Kawachi H. RNA-seq based differential expression analysis in rats with slit diaphragm specific dysfunction: The glomerular gene expression profiles of nephropathy induced by anti-nephrin antibody.
- 148.Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Ephrin-B1 interacts with the basal site of the extracellular domain of nephrin in cis and regulates the barrier function and the signal transduction pathway of the slit diaphragm.

【2017 年】

50th Annual meeting of American Society of Nephrology (2017 年 10 月 31 日～11 月 5 日, New Orleans, USA)

- 149.Zhang Y, Fukusumi Y, Kawachi H. TRPM4 is expressed at the apical surface of podocyte just above slit diaphragm, and its altered expression is involved in podocyte injury.
- 150.Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Ephrin-B1 bound to nephrin at the slit diaphragm controls podocyte function through JNK pathway independently with nephrin phosphorylation.
- 151.Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Vangl2 is associated with ephrin-b1, a novel

critical component of the slit diaphragm, and its downregulation is involved in the initiation event of the podocyte injury.

152. Takamura S, Fukusumi Y, Zhang Y, Narita I, Kawachi H. Par6 β interacted with ephrin-B1 at the slit diaphragm could be a differential diagnostic marker of nephrotic syndrome: Interaction of the Par-complex molecules with ephrin-B1/nephrin in podocyte.

【2018 年】

12th International Podocyte Conference (2018 年 5 月 30 日～6 月 2 日, Montreal, Canada)

153. Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Ephrin-B1 at slit diaphragm controls podocyte functions through JNK pathway independently of nephrin signaling.

51th Annual meeting of American Society of Nephrology (2018 年 10 月 23 日～28 日, San Diego, USA)

154. Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Identification of cytoplasmic proteins associated with Ephrin-B1 at the slit diaphragm of podocyte: PDZ proteins, Par6, Par3 and NHERF2 are associated with Ephrin-B1.
155. Yasuda H, Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. FK506 binding protein (FKBP12) is highly expressed in glomerular podocyte in kidney: FKBP12 in podocyte is co-localized with actin cytoskeleton and is re-distributed in injured podocytes.

【2019 年】

52th Annual meeting of American Society of Nephrology (2019 年 11 月 5 日～10 日, Washington DC, USA)

156. Fukusumi Y, Zhang Y, Yasuda H, Kawachi H. NHERF2 interacts with Ephrin-B1 at the slit diaphragm: NHERF2 bridges podocalyxin and slit diaphragm components.
157. Yasuda H, Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. Tacrolimus ameliorates podocyte injury by restoring FK506 binding protein 12 (FKBP12) at actin cytoskeleton in injured podocyte.
158. Watanabe S, Yasuda H, Zhang Y, Fukusumi Y, Kazama JJ, Kawachi H. TLR3 activation contributes to pathogenesis of mesangial proliferative glomerulonephritis.

【2021 年】

54th Annual meeting of American Society of Nephrology (2021 年 11 月 4 日～7 日, WEB 開催)

159. Fukusumi F, Yasuda H, Zhang Y, Kawachi H. Neurexin1 α containing splice site 4

interacts with nephrin and contributes to maintenance of the integrity of podocyte slit diaphragm.

160. Yasuda H, Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. FKBP12 interacts with 14-3-3 and synaptopodin to maintain actin cytoskeleton and processes in podocytes.

【2022 年】

27th International Congress of International Society of Nephrology (2022 年 2 月 24 日～27 日, WEB 開催)

161. Fukusumi Y, Yasuda H, Zhang Y, Kawachi H. A unique variant of neurexin-1 α containing the splicing site #1, 3, 4, 5 is expressed at slit diaphragm of glomerular podocyte and interacts with nephrin.

55th Annual meeting of American Society of Nephrology (2022 年 11 月 3 日～6 日, Orlando, USA)

162. Fukusumi Y, Zhang Y, Yasuda H, Kawachi H. Nephrin-Ephrin-B1-Par6 complex is crucial for slit diaphragm in podocytes: Ephrin-B1 suppresses tight junction formation by interfering with Par-6-Cdc42 binding.

【2023 年】

56th Annual meeting of American Society of Nephrology (2023 年 11 月 6 日～9 日, Philadelphia, USA)

163. Zhang Y, Fukusumi Y, Yasuda H, Kayaba M, Kawachi H. Downregulation of TRPM4 and consequent increase in TRPC6 activity are critical initiation events leading to podocyte injury.
164. Yasuda H, Fukusumi Y, Zhang Y, Kawachi H. 14-3-3 proteins stabilize vimentin and actin filaments to maintain primary and foot processes in podocyte.

【2024 年】

57th Annual meeting of American Society of Nephrology (2024 年 11 月 6 日～9 日, San Diego, USA)

165. Nagai T, Kayaba M, Zhang Y, Chang G, Fukusumi Y, Kawachi H. Synaptobrevin, a major protein of v-SNARE, participates in maintenance of foot processes of podocyte: Downregulation of synaptobrevin is an initiation event leading to podocyte injury in minimal change nephrotic syndrome (MCNS) model.

B. 国内学会

【1981年】

第 24 回日本腎臓学会総会（昭和 56 年 7 月 3 日～4 日，東京）

51. 河内裕，三枝早苗，松井克之，原田恵子，清水不二雄：免疫蛍光法にて認められる糸球体基底膜の謂わゆる linear pattern について

【1982年】

第 25 回日本腎臓学会総会（昭和 57 年 6 月，東京）

52. 河内裕，松井克之，原田恵子，追手巍，清水不二雄：免疫蛍光法にて認められる糸球体基底膜の謂わゆる linear pattern（第 II 報）
53. 清水不二雄，佐藤京子，河内裕，松井克之，原田恵子，追手巍，三枝早苗，小山貫，木原達：種々の実験的腎傷害における免疫蛍光パターンの前処理による変化とその意味について

【1983年】

第 26 回日本腎臓学会総会（昭和 58 年，京都）

54. 河内裕，佐藤京子，中村享道，山本恵子，追手巍，清水不二雄：各種実験腎炎において，免疫蛍光法により認められる IgA について

【1984年】

第 27 回日本腎臓学会総会（昭和 59 年，東京）

55. 河内裕，風間隆，中村享道，矢尾板永信，森岡哲夫，武藤京子，吉田和清，追手巍，清水不二雄：異種抗 EHS 肉腫抗血清のラットにおける腎炎惹起性について

第 14 回日本免疫学会総会（昭和 59 年 12 月 4 日～6 日，大阪）

56. 河内裕，風間隆，中村享道，矢尾板永信，追手巍，清水不二雄：抗 EHS 肉腫抗体の腎炎惹起能について—抗 FxIA 抗体並びに抗糸球体基底膜抗体との比較—

【1985年】

第 28 回日本腎臓学会総会（昭和 60 年 7 月 12 日～13 日，東京）

57. 河内裕，森岡哲夫，風間 隆，中村享道，松井克之，香美祥二，吉田和清，追手巍，清水不二雄：異種抗 EHS 肉腫抗血清のラットにおける腎炎惹起性について（第 II 報）—抗 laminin 抗血清，抗 collagen（協抗血清投与群との比較—
58. 赤塚史典，森岡哲夫，松井克之，地引利昭，河内裕，香美祥二，吉田和清，追手巍，清水不二雄：ラット腎糸球体上皮細胞に反応するラット由来モノクローナル抗体
59. 地引利昭，中村享道，赤塚史典，河内裕，森岡哲夫，松井克之，香美祥二，吉田和清，追

手巍, 清水不二雄: ヒト腎由来培養細胞のマウス免疫により得られたマウス, ラット腎
交叉反応性モノクローナル抗体

【1987年】

第 30 回日本腎臓学会総会 (昭和 62 年 7 月 17 日～19 日, 東京)

60. 清水不二雄, 折笠道昭, 松井克之, 森岡哲夫, 香美祥二, 山崎一郎, 成田一衛, 河内裕,
追手巍: 一回静注によりラットに顕著な蛋白尿を惹起するモノクローナル抗体
61. 香美祥二, 森岡哲夫, 松井克之, 山崎一郎, 成田一衛, 河内裕, 折笠道昭, 清水不二雄,
追手巍: ハプテン化塩基性抗原を用いた active in situ immune complex 腎炎発症の解
析

第 17 回日本免疫学会総会 (昭和 62 年 11 月 19 日～21 日, 金沢)

62. 折笠道昭, 松井克之, 森岡哲夫, 香美祥二, 山崎一郎, 成田一衛, 河内裕, 追手巍, 清水
不二雄: 蛋白尿惹起モノクローナル抗体とその抗原物質の解析.

【1988 年】

第 77 回日本病理学会総会 (昭和 63 年 5 月 25 日～27 日, 札幌)

63. 森岡哲夫, 追手巍, 松井克之, 河内裕, 清水不二雄: EHS 腎症 VI. 抗原の同定
64. 松井克之, 折笠道昭, 河内裕, 森岡哲夫, 山崎一郎, 成田一衛, 追手巍, 清水不二雄: 蛋
白尿惹起性単クローン抗体のラット腎糸球体に於ける経時的局在変化

第 23 回小児腎臓病学会 (昭和 63 年 6 月 23 日～25 日, 東京)

65. 香美祥二, 松井克之, 森岡哲夫, 河内裕, 黒田泰弘, 追手巍, 清水不二雄: ヒト腎糸球体
成分に対するモノクローナル抗体

第 31 回日本腎臓学会総会 (昭和 63 年, 奈良)

66. 河内裕, 松井克之, 岡空輝夫, 折笠道昭, 森岡哲夫, 山崎一郎, 追手巍, 清水不二雄: 顕
著な蛋白尿と形態学的変化を惹起する単クローン抗体 1-22-3
67. 岡空輝夫, 河内裕, 松井克之, 折笠道昭, 森岡哲夫, 山崎一郎, 追手巍, 清水不二雄: 単
クローン抗体 5-1-6 認識抗原の障害モデル腎に於ける動態
68. 松井克之, 河内裕, 岡空輝夫, 折笠道昭, 森岡哲夫, 山崎一郎, 追手巍, 清水不二雄: 蛋
白尿惹起性単クローン抗体 5-1-6 認識抗原の発生学的研究

第 18 回日本免疫学会総会 (昭和 62 年 12 月 14 日～16 日, 京都)

69. 松井克之, 森岡哲夫, 河内裕, 山崎一郎, 岡空輝夫, 追手巍, 清水不二雄: EHS 腎症 VII.
膜性腎症モデルの確立とその病因抗原に関する免疫組織化学的検索

70. 山崎一郎, 松井克之, 森岡哲夫, 河内裕, 岡空輝夫, 竹内正七, 清水不二雄, 追手巍: ラットにおける荷電蛋白に対する母仔間のバリエーション機能

【1989年】

第 78 回日本病理学会総会（平成元年 3 月 29 日～31 日, 京都）

71. 松井克之, 河内裕, 岡空輝夫, 森岡哲夫, 追手巍, 清水不二雄: 蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 並びにその認識抗原のラット糸球体における抗体静注後の動態

第 24 回小児腎臓病学会（平成元年, 名古屋）

72. 香美祥二, 岡田要, 船井守, 黒田泰弘, 河内裕, 森岡哲夫, 山崎一郎, 追手巍, 清水不二雄: ヒト腎糸球体成分に対するモノクローナル抗体 (II) 対応抗原の解析

第 32 回日本腎臓学会総会（平成元年 6 月 9 日～11 日, 仙台）

73. 河内裕, 折笠道昭, 松井克之, 森岡哲夫, 山崎一郎, 佐藤武司, 佐伯敬子, 追手巍, 清水不二雄: 蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 投与ラットにおける 5-1-6 認識抗原の動態について
74. 清水不二雄, 河内裕, 佐藤武司, 森岡哲夫, 山崎一郎, 佐伯敬子, 折笠道昭, 追手巍: 蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 認識抗原の実験腎炎における動態 -第 2 報-
75. 香美祥二, 岡田要, 船井守, 黒田泰弘, 森岡哲夫, 河内裕, 追手巍, 清水不二雄: ヒト腎糸球体成分に対するモノクローナル抗体

【1990年】

第 79 回日本病理学会総会（平成 2 年 3 月 29 日～31 日, 福岡）

76. 河内裕, 松井克之, 佐藤武司, 森岡哲夫, 追手巍, 清水不二雄: 単クローン抗体 (MA) 1-22-3 により惹起される腎メサングウム (M) 病変の形態学的検討
77. 佐藤武司, 河内裕, 森岡哲夫, 清水不二雄, 追手巍: 腎糸球体における各種細胞抗原の定量化
78. 佐藤武司, 森岡哲夫, 河内裕, 追手巍, 清水不二雄: 糸球体腎炎発症と進展に及ぼす宿主免疫反応の影響

第 25 回日本小児腎臓病学会（平成 2 年, 浦安）

79. 瀧川孝子, 岡空輝夫, 宇都宮靖, 妹尾磯範, 林原博, 白木和夫, 笠置綱清, 河内裕, 森岡哲夫, 折笠道昭, 追手巍, 清水不二雄: モノクローナル抗体 5-1-6 惹起蛋白尿に対するステロイドホルモン剤の効果

【1991 年】

第 80 回日本病理学会総会（平成 3 年 4 月 3 日～4 日，大阪）

80. 清水不二雄，河内裕，追手巍：Effect of traditional chinese medicine (SAIREI-TO) on monoclonal antibody 5-1-6 induced proteinuria in rats
81. Reinartz J, 河内裕，追手巍，清水不二雄：Monoclonal antibody 1-22-3 and anti thy 1.1 recognized antigens in developing rat kidney

第 23 回日本臨床電子顕微鏡学会総会（平成 3 年，富山）

82. 岡めぐみ，日高寿美，長瀬光昌，河内裕，追手巍，清水不二雄，藤垣嘉秀，小林修三，村中祥吾：モノクローナル抗体 5-1-6 惹起蛋白尿における糸球体基底膜の蛋白透過性の検討

第 34 回日本腎臓学会総会（平成 3 年 11 月 7～9 日，岡山）

83. 河内裕，成澤真子，高島徳子，追手巍，清水不二雄：モノクローナル抗体 1-22-3 投与ラットに認められた増殖細胞の起源について
84. 高島徳子，河内裕，西慎一，成澤真子，追手巍，清水不二雄：静注された蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 の局在変化に及ぼす chlorpromazine の影響.
85. 成澤真子，河内裕，高島徳子，追手巍，清水不二雄：モノクローナル抗体 5-1-6 の蛋白尿惹起メカニズムの検討
86. 清水不二雄，河内裕，追手巍：単クローン抗体により惹起される腎障害に及ぼす柴苓湯の効果-第 2 報-
87. 佐藤武司，竹内正文，河内裕，佐伯敬子，高島徳子，追手巍，清水不二雄：糸球体腎炎発症に及ぼす宿主免疫反応の影響 -ヌードラットによる検索-
88. 滝川孝子，岡空輝夫，深沢哲，林原博，白木和夫，河内裕，追手巍，清水不二雄：モノクローナル抗体 5-1-6 惹起蛋白尿に対する steroid, Cyclosporin A の効果
89. 森本雄次，香美祥二，岡田要，黒田泰弘，森岡哲夫，河内裕，追手巍，清水不二雄：ヒト腎糸球体上皮細胞に対するモノクローナル抗体

【1992 年】

第 81 回日本病理学会総会（平成 4 年 5 月 14 日～16 日，仙台）

90. 清水不二雄，河内裕，高島徳子，成澤真子，追手巍：単クローン抗体惹起蛋白尿に及ぼす薬剤の影響とその作用機序

第 22 回日本免疫学会総会（平成 4 年 11 月 25 日～27 日，名古屋）

91. 河内裕，追手巍，清水不二雄：単クローン抗体によりラットに惹起される進行性腎病変

第 35 回日本腎臓学会総会（平成 4 年 12 月 4～6 日，横浜）

92. 河内裕，追手巍，清水不二雄：単クローン抗体 1-22-3 により惹起される蛋白尿とメサングウム病変に関する定量的検索
93. Gollner D, 河内裕，追手巍，清水不二雄：単クローン抗体 5-1-6 惹起腎病変におけるラット系統差
94. 成澤真子，河内裕，追手巍，清水不二雄：単クローン抗体 5-1-6 の蛋白尿惹起メカニズムの検討 第 2 報
95. 清水不二雄，河内裕，成澤真子，追手巍：蛋白尿惹起単クローン抗体の単離糸球体との反応とその後の動態に関する検討
96. 鳥谷部森，河内裕，清水不二雄：抗メサングウム単クローン抗体により惹起された増殖性腎炎の電顕的観察
97. 高島徳子，斎藤和英，西慎一，河内裕，成澤真子，追手巍，荒川正昭，清水不二雄：静注された蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 の局在変化と尿蛋白量の関係について
98. 森本雄次，香美祥二，岡田要，森岡哲夫，河内裕，追手巍，清水不二雄，黒田泰弘：ヒト腎糸球体上皮細胞に対するモノクローナル抗体

【1993 年】

第 36 回日本腎臓学会総会（平成 5 年 12 月，横浜）

99. 清水不二雄，河内裕，成澤真子，斎藤和英，小林英雄，森岡哲夫，追手巍：蛋白尿惹起単クローン抗体の単離糸球体との反応とその後の動態に関する検討 II 共焦点レーザー顕微鏡による検討
100. Dietmar Gollner, 長瀬光昌，岡めぐみ，河内裕，追手巍，清水不二雄：単クローン抗体 5-1-6 惹起腎病変におけるラット系統差 第 II 報
101. 坂爪実，中川陽一，竹田徹郎，目黒裕之，荒川正昭，河内裕，清水不二雄：モノクローナル抗体（mAb）1-22-3 惹起メサングウム増殖性腎炎（mPGN）における細胞外基質合成－分解系：可逆性と非可逆性モデルの差異

【1994 年】

第 83 回日本病理学会総会（平成 6 年 3 月 29 日～31 日，京都）

102. 清水不二雄，河内裕，森岡哲夫，追手巍：2 種単クローン抗体同時 1 回投与によりラットに惹起される硬化性腎病変

第 37 回日本腎臓学会総会（平成 6 年 12 月，千葉）

103. 藤垣嘉秀，Vogt A, 河内裕，斎藤真子，小林英雄，森岡哲夫，追手巍，清水不二雄，松井克之：蛋白尿惹起単クローン抗体（mAb）5-1-6 認識抗原（Ag）の糸球体局在及び静注後の動態

104. 清水不二雄, 錢蘇, Cheng QL, 斎藤真子, 小林英雄, 河内裕, 森岡哲夫, 追手巍, 折笠道昭: 2 種類単クローン抗体同時 1 回投与によりラットに惹起される硬化性腎病変 第 2 報
105. 畔柳留美, 中村享道, 本間元, 池田佳生, 高野一, 田村康二, 河内裕, 清水不二雄: 実験的慢性糸球体腎炎モデルにおけるアンギオテンシン(Ⅱ) 受容体拮抗薬の腎保護作用

【1995 年】

第 84 回日本病理学会総会 (平成 7 年 4 月 17 日～19 日, 名古屋)

106. 清水不二雄, 河内裕, 森岡哲夫, 追手巍: ヌードラットにおける単クローン抗体惹起腎障害

第 38 回日本腎臓学会総会 (平成 7 年 11 月, 東京)

107. 河内裕, 松井克之, Salant D, Abrahamson D, 清水不二雄: Slit membrane 構成成分である蛋白尿惹起抗原 P 51 の発生学的検討
108. 中村享道, 木村英昭, 尾畑純栄, 畔柳留美, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルにおけるアンギオテンシン (ANG) 変換酵素阻害薬の腎保護作用

【1996 年】

第 39 回日本腎臓学会総会 (平成 8 年 5 月 30 日～6 月 1 日, 倉敷)

109. 小林英雄, 河内裕, 森岡哲夫, 追手巍, 川崎克俊, 二瓶宏, 清水不二雄: mAb (1-22-3) 惹起腎炎における浸潤マクロファージの解析
110. 中山均, 小林英雄, 河内裕, 森岡哲夫, 追手巍, 荒川正昭, 清水不二雄: 抗 Thy-1 腎炎: 2 種類の抗 Thy-1 モノクローナル抗体による比較検討
111. 鬼塚真仁, 中村享道, 尾畑純栄, 畔柳留美, 内藤昭貴, 木村英昭, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルにおけるアンギオテンシン(ANG)変換酵素阻害薬 (ACEI)の腎保護作用

【1997 年】

第 40 回日本腎臓学会総会 (平成 9 年 5 月 14 日～16 日, 新潟)

112. 河内裕, 清水不二雄: 抗糸球体上皮細胞単クローン抗体 5-1-6 により誘導される蛋白尿発症メカニズムの検討
113. 河内裕, 小林英雄, 中山均, 大森さおり, 若杉三奈子, 清水不二雄: 抗 Thy-1.1 単クローン抗体 1-22-3 により誘導される進行性糸球体硬化病変の発症, 進行メカニズムの検討
114. 李平, 河内裕, 清水不二雄: 単クローン抗体(mAb)1-22-3 惹起腎炎に及ぼす漢方薬の抑制効果: 炎症細胞動態の解析

- 115. 李平, 河内裕, 清水不二雄: 慢性進行性腎病変モデルに及ぼす漢方薬の抑制効果
- 116. 鬼塚真仁, 中村享道, 尾畑純栄, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルラットにおけるアンギオテンシン変換酵素阻害薬 (ACE I) の腎保護作用
- 117. 中村享道, 鬼塚真仁, 尾畑純栄, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルにおけるアンギオテンシン (ANG) 変換酵素阻害薬 (AC I) の腎保護作用 (Ⅲ)
- 118. 大森さおり, 若杉三奈子, 森岡哲夫, 追手巍, 河内裕, 荒川正昭, 清水不二雄: 糸球体内におけるアポトーシス細胞定量化とラット実験腎炎モデルへの応用
- 119. 嶋田裕慈, 中村享道, 鬼塚真仁, 尾畑純栄, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルにおける塩酸ベニジピンの腎保護作用
- 120. 小林英雄, 本田一穂, 河嶋朗, 湯村和子, 二瓶宏, 河内裕, 清水不二雄: mAb (1-22-3) 惹起 Thy-1 腎炎の初期病変形成における好中球の関与
- 121. 若杉三奈子, 大森さおり, 西慎一, 荒川正昭, 高木淳一, 河内裕, 清水不二雄: von Willebrand 因子 (vWF) のプロポリペプチド (pp-vWF) は 1-22-3 腎炎糸球体に vWF とは異なった局在を呈する
- 122. 碓井倫秀洋, 宮崎洋, 河野啓助, 玉井収, 和田芳文, 河内裕, 清水不二雄, 奥田誠也: メサンギウム増殖性腎炎モデルにおける内因性 NO 合成阻害物質の役割

【1998 年】

第 41 回日本腎臓学会総会 (平成 10 年 5 月 11 日～12 日, 東京)

- 123. 河内裕, 小林英雄, 名取有美子, 名取泰博, 清水不二雄: 抗 Thy-1.1 単クローン抗体 1-22-3 二回投与により誘導される進行性糸球体硬化病変の発症, 進行メカニズムの検討
- 124. 池住洋平, 河内裕, 菊地博, 富田雅之, 李平, 内山聖, 清水不二雄: 抗 Thy-1.1 単クローン抗体 1-22-3 による進行性糸球体硬化モデルにおけるリンパ球系細胞の動態
- 125. 菊地博, 河内裕, 斎藤亮彦, 荒川正昭, 清水不二雄: 持続性蛋白尿により惹起されたラット腎病変
- 126. 李平, 鈴木康仁, 河内裕, 清水不二雄: ラット硬化性腎病変誘導後に投与された柴苓湯の病変抑制効果に関する検討

第 28 回日本腎臓学会東部学術大会 (平成 10 年, 東京)

- 127. 謝春, 河内裕, 高宮治生, 清水不二雄: 蛋白尿惹起単クローン抗体 5-1-6 によるラット腎病変に及ぼす片腎摘出の影響

【1999 年】

第 34 回日本小児腎臓病学会総会 (平成 11 年 5 月 26 日, 新潟)

- 128. 河内裕, 清水不二雄: 糸球体上皮細胞障害と蛋白尿

第 42 回日本腎臓学会総会（平成 11 年 6 月 26 日～28 日，横浜）

129. 富田雅之，河内裕，菊地博，池住洋平，清水不二雄：メサングウム増殖性糸球体腎炎モデルの進行における I 型 collagenase の役割
130. 伊藤由美，河内裕，池住洋平，名取泰博，下条文武，清水不二雄：抗 Thy1.1 抗体惹起可逆性並びに不可逆性腎病変におけるケモカイン発現と浸潤細胞動態に関する比較検討
131. 池住洋平，河内裕，伊藤由美，鳥谷部真一，内山聖，清水不二雄：抗ラット CD5 (OX19) 抗体による Thy1.1 腎炎の糸球体障害抑制効果の検討
132. 小林英雄，河内裕，本田一穂，川嶋朗，新田孝作，二瓶宏，清水不二雄：mAb (1-22-3) 惹起抗 Thy-1 腎炎における尿蛋白惹起機所への好中球の関与
133. 小柳明久，伊藤由美，河内裕，下条文武，清水不二雄：抗 Thy1.1 抗体 1-22-3 惹起非可逆性腎障害モデルによる半月体形成機序についての検討
134. 内田啓子，小林英雄，新田孝作，湯村和子，河内裕，清水不二雄，二瓶宏：Smad6, Smad7 の腎内での発現部位の同定と Thy 1 腎炎における発現の変化

第 36 回日本消化器免疫学会総会（平成 11 年 7 月 23 日～24 日，仙台）

135. 佐々木俊哉，鈴木健司，摺木陽久，馬場靖幸，長谷川勝彦，河内裕，清水不二雄，朝倉均：マウス移入細胞対宿主反応を用いた原発性胆汁肝硬変類似肝病変進展機序の解析
免疫蛍光抗体二重染色法による浸潤細胞のサイトカイン発現の検討
136. 馬場靖幸，鈴木健司，摺木陽久，佐々木俊哉，杉村一仁，本間照，成澤林太郎，河内裕，清水不二雄，朝倉均：マウスレトロウイルスによる実験性腸炎における 5-ASA(Mesalazine)の治療効果およびその作用機序の解析
137. 摺木陽久，鈴木健司，佐々木俊哉，馬場靖幸，長谷川勝彦，杉村一仁，本間照，成澤林太郎，河内裕，清水不二雄，朝倉均：マウスレトロウイルスを用いた実験性腸炎の大腸における浸潤細胞とサイトカインの関係についての解析

【2000 年】

第 43 回日本腎臓学会総会（平成 12 年 5 月 11 日～13 日，名古屋）

138. 伊藤由美，河内裕，池住洋平，名取泰宏，下条文武，清水不二雄：進行性糸球体硬化モデルにおける fractalkine (FKN), CX3CR1 の発現
139. 小池廣子，河内裕，清水不二雄：スリット膜形成過程における nephrin 発現の検討
140. 小柳明久，河内裕，伊藤由美，下条文武，清水不二雄：抗 Thy1.1 抗体 1-22-3 惹起不可逆性腎障害モデルによる半月体形成機序についての検討 第 2 報
141. 池住洋平，河内裕，伊藤由美，鳥谷部真一，内山聖，清水不二雄：進行性糸球体硬化モデルにおける抗 T リンパ球抗体の投与効果の検討
142. 小林英雄，本田一穂，河内裕，新田孝作，堀田茂，川嶋朗，内田啓子，清水不二雄，二瓶宏，西平順：ラット抗 Thy1 腎炎における MIF の役割の検討

143. 中村享道, 羽田明, 河内裕, 清水不二雄: 慢性糸球体腎炎モデルラットにおけるアンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬 (AT1RA) の腎保護作用 (V)
144. 内田啓子, 小林英雄, 新田孝作, 湯村和子, 河内裕, 清水不二雄, 二瓶宏: Thy1.1 腎炎における促進型及び抑制型 Smad 蛋白の発現経過と TGF- β , コラーゲン産生との関連に関する検討

【2001 年】

第 44 回日本腎臓学会総会 (平成 13 年 5 月 27 日～30 日, 東京)

145. 河内裕, 小池廣子, 清水不二雄: 糸球体上皮細胞足突起間のスリット膜構造維持に果たす nephrin 発現の役割
146. 伊藤由美, 河内裕, 森岡良夫, 小池廣子, 小柳明久, 中村享道, 成田一衛, 下条文武, 清水不二雄: メサングウム増殖性腎炎における Fractalkine, CX3CR1 の発現
147. 小池廣子, 清水不二雄, 河内裕: 後腎原基培養系における nephrin および糸球体上皮細胞関連蛋白の発現
148. 池住洋平, 菅野かつ恵, 小池廣子, 富田雅之, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: 抗 Thy-1 単クローン抗体 1-22-3 により惹起されるメサングウム増殖性腎炎モデルにおける FK506 (Tacrolimus) の投与効果
149. 森岡良夫, 小池廣子, 池住洋平, 伊藤由美, 小柳明久, 下条文武, 清水不二雄, 河内裕: メサングウム増殖性腎炎の進行における糸球体上皮細胞障害の関与の検討
150. 菅野かつ恵, 原正則, 内田好昭, 河内裕, 清水不二雄, 内山聖: 糸球体腎炎における尿沈渣ポドカリキシン定量の有用性の検討
151. 春日弘毅, 伊藤恭彦, 水野正司, 湯澤由起夫, 河内裕, 清水不二雄, 松尾清一: TGF β type II receptor 中和抗体 Thy-1 腎炎における効果
152. 渡辺祐輔, 小林竜也, 矢尾板永信, 井上勉, 河内裕, 山内淳, 清水不二雄, 岡田浩一, 鈴木洋通, 山本格: PAN 腎症における糸球体上皮細胞の Na⁺/myo-inositol cotransporter (SMIT) 発現

第 36 回日本小児腎臓病学会学術集会 (平成 13 年 6 月 14 日～16 日, 東京)

153. 菅野かつ恵, 原正則, 河内裕, 清水不二雄, 内山聖: 小児糸球体疾患における尿沈渣ポドカリキシン定量の有用性の検討

【2002 年】

第 45 回日本腎臓学会総会 (平成 14 年 5 月 23 日～25 日, 大阪)

154. 韓基東, 小池廣子, 清水不二雄, 河内裕: ラット Thy-1 腎炎における interferon-inducible protein (IP-10) の役割
155. 中枝武司, 小池廣子, 下条文武, 清水不二雄, 河内裕: 受身型 Heymann 腎炎における

糸球体上皮細胞間連分子の動態

- 156.菅野かつ恵, 池住洋平, 富田雅之, 小池廣子, 中枝武司, 韓基東, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: 進行性メサングウム増殖性腎炎モデルにおける FK506(Tacrolimus)の投与効果の検討
- 157.池住洋平, 菅野かつ恵, 小池廣子, 伊藤由美, 鳥谷部真一, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: 進行性硬化モデルにおける抗Tリンパ球抗体の投与効果の検討 (第2報)
- 158.長門谷克之, 守山敏樹, 竹治正展, 大瀬戸奨, 安東明夫, 河内裕, 清水不二雄, 今井圓裕, 堀正二: ROCK 阻害剤ファスジルによる Thy 1 腎炎治療効果の検討
- 159.中村弘之, 猪阪善隆, 水井理之, 高畠義嗣, 赤木良隆, 堀尾勝, 河内裕, 清水不二雄, 今井圓裕, 堀正二: Electroporation 法を用いた TGF- β DNA enzyme 導入による腎炎における細胞外基質産生の抑制

第 39 回日本消化器免疫学会総会 (平成 14 年 3 月 7 日～8 日, 新潟)

- 160.嶋田裕人, 摺木陽久, 鈴木健司, 藤井庄人, 河内裕, 清水不二雄, 朝倉均, 細野正道: 高発症率マウス自己免疫性胃炎モデル作出の試み

【2003 年】

第 46 回日本腎臓学会総会 (平成 15 年 5 月 22 日～24 日, 東京)

- 161.中枝武司, 小池廣子, 韓基東, 下条文武, 清水不二雄, 河内裕: 受け身型及び能動型 Heymann 腎炎における糸球体上皮細胞関連分子の動態
- 162.韓基東, 小池廣子, 鈴木浩一, 折笠道昭, 清水不二雄, 河内裕: 抗ネフリン単クローン抗体 5-1-6 により誘導される蛋白尿における interferon-inducible protein (IP-10) の役割
- 163.韓基東, 小池廣子, 中枝武司, 清水不二雄, 河内裕: Puromycin aminonucleoside (PAN) 腎症における interferon-inducible protein (IP-10) の役割の検討
- 164.鈴木浩一, 小池廣子, 韓基東, 中枝武司, 折笠道昭, 二瓶宏, 清水不二雄, 河内裕: 抗 Thy-1 単クローン抗体 1-22-3 投与により誘導される進行性糸球体病変の検討
- 165.小池廣子, 清水不二雄, 河内裕: 糸球体上皮細胞の分化に対する puromycin aminonucleoside (PAN) の影響-後腎器官培養系を用いた解析-
- 166.富田雅之, 曾我部肇, 仲里祥子, 中辻俊二, 河内裕, 清水不二雄: 進行性慢性腎炎モデルにおける長期腎機能予後に対する ACE 阻害剤の効果
- 167.香美祥二, 近藤秀治, 清水真樹, 北村明子, 漆原真樹, 河内裕, 清水不二雄: ラット片腎 Thy-1 腎炎における Integrin-Linked Kinase (ILK) 発現・活性の役割検討
- 168.仲里祥子, 富田雅之, 曾我部肇, 中辻俊二, 河内裕, 清水不二雄: 5/6 腎摘慢性腎不全モデルにおける腎機能予後規定因子の解析
- 169.曾我部肇, 富田雅之, 仲里祥子, 中辻俊二, 河内裕, 清水不二雄: 片腎摘出抗 Thy-1 腎炎モデルの長期観察

- 170.野坂仁也, 白井三紀子, 金子織善, 政岡裕之, 松井克之, 河内裕, 清水不二雄, 内田俊也: Puromycin aminonucleoside (PAN) 腎症ラットに対するフリーラジカルスカベンジャー, エダラボンの効果
- 171.田中啓之, 寺田典生, 岡戸丈和, 島村治子, 井下聖司, 寺岡弘文, 河内裕, 佐々木成: マウス ES 細胞より腎構成細胞 (podocyte) への分化誘導の試み

【2004 年】

第 47 回日本腎臓学会総会 (平成 16 年 5 月 27 日～29 日, 宇都宮)

- 172.河内裕: 蛋白尿発症の分子機構 (シンポジウム)
- 173.河内裕: 蛋白尿の分子機構 (ランチョンセミナー)
- 174.韓基東, 小池廣子, 鈴木浩一, 清水不二雄, 河内裕: IP-10 は糸球体上皮細胞 (podocyte) の細胞周期調節に関与する
- 175.張田豊, 宮内直子, 唐澤環, 鈴木浩一, 韓基東, 小池廣子, 五十嵐隆, 清水不二雄, 河内裕: 抗 Thy-1.1 単クローン抗体 1-22-3 投与による蛋白尿出現機序の検討
- 176.鈴木浩一, 小池廣子, 韓基東, 中枝武司, 清水不二雄, 河内裕: 抗 nephrin 抗体腎症におけるアンジオテンシン II 受容体拮抗剤 (AT1RA) の効果と糸球体上皮関連分子への影響の検討
- 177.鈴木浩一, 小池廣子, 韓基東, 清水不二雄, 河内裕: Mycophenolate mofetil の増殖性腎炎抑制効果の検討
- 178.藤岡由美子, 鈴木浩一, 中枝武司, 韓基東, 小池廣子, 河内裕, 清水不二雄: 不可逆性メサンギウム増殖細胞性腎炎モデルにおける病変進展に及ぼす食餌中蛋白質量の影響
- 179.辻美保子, 門川俊明, 吉野純, 河内裕, 清水不二雄, 林松彦, 猿田亨男: 腎線維化における Thymosin β 4, β 10 の役割
- 180.近藤秀治, 香美祥二, 清水真樹, 北村明子, 河内裕, 清水不二雄: ラット進行性メサンギウム増殖性糸球体腎炎における NADPH オキシダーゼの役割
- 181.内村英輝, 丸茂丈史, 高瀬敦, 河内裕, 清水不二雄, 菱川慶一, 藤田敏郎, 林松彦, 猿田亨男: 培養骨髄細胞の腎臓内投与は, Thy-1 腎炎の糸球体内皮障害を抑制する
- 182.浅井昌樹, 門川俊明, 福田誠一, 丸茂丈史, 河内裕, 清水不二雄, 林松彦, 猿田亨男: 進行性慢性腎炎モデルに対する抗アルドステロン薬の効果
- 183.高沢有紀, 前島洋平, 来山浩之, 山本佳彦, 呉燕, 河内裕, 清水不二雄, 杉山斉, 山崎康司, 槇野博史: Angiotensin II (A-II) による糸球体内皮細胞修復促進効果の検討

第 39 回日本小児腎臓病学会学術集会 (平成 16 年 7 月 1 日～3 日, 熊本)

- 184.河内裕: メサンギウム増殖性腎炎進行機序についての最近の知見
- 185.張田豊, 池住洋平, 唐澤環, 宮内直子, 鈴木浩一, 韓基東, 小池廣子, 五十嵐隆, 清水不二雄, 河内裕: 抗 Thy 1.1 単クローン抗体 1-22-3 投与による蛋白尿出現機序の検討

- 186.唐澤環, 宮内直子, 張田豊, 鈴木浩一, 韓基東, 小池廣子, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: 発達過程の糸球体における podocyte 障害
- 187.池住洋平, 鈴木俊明, 大久保総一郎, 河内裕, 清水不二雄, 内山聖: 各種小児腎疾患における CD169 陽性細胞浸潤の病的意義の検討

【2005 年】

第 48 回日本腎臓学会総会 (平成 17 年 6 月 23 日～25 日, 横浜)

- 188.鈴木浩一, 韓基東, 藤岡由美子, 宮内直子, 唐澤環, 張田豊, 小池廣子, 清水不二雄, 河内裕: Puromycin aminonucleoside(PAN)腎症における糸球体上皮細胞スリット膜関連分子発現に与える AT1 受容体刺激抑制の影響
- 189.斉藤陽, 宮内直子, 橋本多恵子, 唐澤環, 張田豊, 藤岡由美子, 鈴木浩一, 韓基東, 小池廣子, 小坂橋靖, 清水不二雄, 河内裕: 神経シナプス分子である Neuroligin 1 の糸球体 podocyte での発現と蛋白尿との関係越川真男, 向山政志, 澤井一智, 吉岡哲朗, 横井秀基, 森潔, 菅波孝祥, 河内裕, 清水不二雄, 菅原照, 中尾一和: ラット puromycin aminonucleoside 腎症における p MAP キナーゼの役割
- 190.唐澤環, 韓基東, 鈴木浩一, 宮内直子, 張田豊, 小池廣子, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: Synbindin の糸球体障害時の動態とその役割に関する検討
- 191.齋藤陽, 鈴木浩一, 橋本多恵子, 宮内直子, 唐澤環, 張田豊, 藤岡由美子, 韓基東, 小池廣子, 小坂橋靖, 清水不二雄, 河内裕: 不可逆性糸球体病変の誘導における Fractalkine の関与
- 192.宮内直子, 韓基東, 鈴木浩一, 唐澤環, 張田豊, 小池廣子, 清水不二雄, 河内裕: SV2B(Synaptic vesicle 2B)は nephrin と結合し podocyte 機能維持に関与する
- 193.原章規, 和田隆志, 中屋来哉, 坂井宣彦, 古市賢吾, 横山仁, 河内裕, 清水不二雄: Role of VEGF in progressive nephropathy
- 194.池住洋平, 鈴木俊明, 河内裕, 清水不二雄, 内山聖: IgA 腎症の進展機序における sialoadhesin 陽性マクロファージの役割の検討
- 195.辻美保子, 門川俊明, 吉野純, 河内裕, 清水不二雄, 林松彦, 猿田享男: 尿細管間質障害におけるマクロファージの活性化と Thymosin β 4
- 196.高沢有紀, 前島洋平, 来山浩之, 山本佳彦, 一瀬邦弘, 広越久美子, 河内裕, 清水不二雄, 杉山斉, 山崎康司, 槇野博史: Angiotensin- II (A-II) による抗 Thy-1 腎炎長期モデルにおける糸球体修復過程の検討

第 14 回発達腎研究会 (平成 17 年 9 月 1 日, 東京)

- 197.唐澤環, 橋本多恵子, 張田豊, 宮内直子, 韓基東, 小池廣子, 内山聖, 清水不二雄, 河内裕: 発達過程における糸球体障害についての検討

【2006 年】

第 109 回日本小児科学会学術総会（平成 18 年 4 月 21 日～23 日，金沢）

- 198.唐澤環，橋本多恵子，齋藤陽，宮内直子，張田豊 内山聖，清水不二雄，河内裕：発達過程における糸球体上皮細胞障害は将来の腎疾患発症のリスクファクターとなる

第 49 回日本腎臓学会総会（平成 18 年 6 月 14 日～16 日，東京）

- 199.宮内直子，唐澤環，齋藤陽，橋本多恵子，藤岡由美子，清水不二雄，河内裕：ポドサイトにおける synaptotagmin1・syntaxin1A の発現
- 200.唐澤環，橋本多恵子，齋藤陽，宮内直子，張田豊，内山聖，清水不二雄，河内裕：発達過程における糸球体上皮細胞（Pod）障害
- 201.比嘉睦，橋本多恵子，高田彰，大滝恭弘，齋藤陽，宮内直子，太田孝男，清水不二雄，河内裕：糸球体上皮細胞における Aminopeptidase A の発現
- 202.齋藤陽，鈴木浩一，橋本多恵子，宮内直子，藤岡由美子，小板橋靖，清水不二雄，河内裕：Thy1 腎炎進展における fractalkine/CXCR1 抑制効果
- 203.大滝恭弘，高田彰，比嘉睦，橋本多恵子，齋藤陽，宮内直子，下条文武，清水不二雄，河内裕：アドリアマイシン（ADR）腎症におけるスリット関連分子の動態
- 204.高田彰，比嘉睦，大滝恭弘，齋藤陽，橋本多恵子，宮内直子，千田勝一，清水不二雄，河内裕：進行性メサンギウム増殖性腎炎モデルに対する FK506 の投与効果（第 2 報）
- 205.藤岡由美子，齋藤陽，鈴木浩一，宮内直子，唐澤環，橋本多恵子，河内裕，清水不二雄：抗 nephrin 抗体と抗 Thy1.1 抗体を同時に静注して惹起した進行性腎病変の検討
- 206.小川麻，坂爪実，嵯峨大介，津畑豊，アルチ バッサム，金子佳賢，成田一衛，河内裕，清水不二雄，下条文武：ラット抗糸球体基底膜腎炎の糸球体上皮細胞に発現する SM22a の解析
- 207.柴田茂，長瀬美樹，吉田成孝，矢後雅子，要伸也，河内裕，藤田敏郎：アルドステロンは腎糸球体上皮細胞に作用し酸化ストレスを介して細胞障害を引き起こす
- 208.武光智子，市原淳弘，金城雪，迫田万里代，河内裕，清水不二雄，林松彦：高血圧において増加した非蛋白融解的活性化プロレニンの腎糸球体内局在

第 41 回日本小児腎臓病学会学術集会（平成 18 年 6 月 22 日～24 日，名古屋）

- 209.河内裕：糸球体濾過を規定するもの－糸球体毛細血管壁のバリアー構造－
- 210.唐澤環，橋本多恵子，齋藤陽，宮内直子，張田豊，内山聖，清水不二雄，河内裕：発達過程の糸球体上皮細胞傷害は将来の腎疾患発症のリスクファクターとなる

【2007 年】

第 50 回日本腎臓学会総会（平成 19 年 5 月 25 日～27 日，浜松）

- 211.大滝恭弘，比嘉睦，宮内直子，下条文武，清水不二雄，河内裕：FSGS 発症初期における

糸球体上皮細胞スリット膜関連分子の動態－NEPH1 分子の初期マーカーとしての有効性－

- 212.齋藤陽, 宮内直子, 橋本多恵子, 唐澤環, 韓基東, 小坂橋靖, 清水不二雄, 河内裕: ポドサイトに発現する神経シナプス分子である Neurexin の検討
- 213.比嘉睦, 橋本多恵子, 高田彰, 大滝恭弘, 宮内直子, 太田孝男, 清水不二雄, 河内裕: Amino peptidase A (PAP) は, 糸球体上皮細胞 (ポドサイト) スリット膜機能維持に関与している
- 214.池住洋平, 鈴木俊明, 唐澤環, 河内裕, 内山聖: マクロファージによる糸球体障害に対するミゾリビンの作用機序
- 215.津畑豊, 坂爪実, 小川麻, 金子佳賢, 成田一衛, 河内裕, 山本格, 下条文武: 腎における新規ポドサイト構成分子 allograft inflammatory factor-1 の発現
- 216.迫田万里代, 市原淳弘, 金城雪, 武光智子, 河内裕, Moin A Saleem, 伊藤裕: ヒト培養腎糸球体上皮細胞における (プロ) レニン受容体の局在
- 217.江藤伸晃, 和田健彦, 稲城玲子, 高野秀樹, 清水章, 栗原秀剛, 河内裕, 加藤秀樹, 南学正臣, 藤田敏郎: ダルペチンによる蛋白尿軽減と足細胞障害の改善効果

【2008 年】

第 51 回日本腎臓学会総会 (平成 20 年 5 月 30 日～6 月 1 日, 福岡)

- 218.福田顕弘, 藤元昭一, 岩坪修司, 北村和雄, 河内裕: PAN 腎症モデルにおける尿蛋白発症機序の検討
- 219.池住洋平, 鈴木俊明, 唐澤環, 河内裕, 内山聖: ラットメサングウム増殖性糸球体腎炎に対するミゾリビンおよびプレドニゾロンによる治療効果

【2009 年】

第 52 回日本腎臓学会総会 (平成 21 年 6 月 3 日～5 日, 東京)

- 220.鈴木康一, 角智行, 松井克之, 河内裕: 発達過程, 病態時の糸球体におけるポドプラニンの動態
- 221.青木康之, 齋藤陽, 白井小百合, 安田隆, 生駒雅昭, 河内裕, 小坂橋靖: IgA 腎症における尿中 fractalkine の発現とその意義
- 222.池住洋平, 鈴木俊明, 唐澤環, 河内裕, 内山聖: IgA 腎症の慢性化組織像形成への M2 マクロファージの関与
- 223.祖父江理, 清元秀泰, 西島陽子, 黒住知宏, 海部久美子, 原大雅, 中野大介, 人見浩史, 河内裕, 小堀浩幸, 河野雅和, 西山成: オルメタサンの早期投与は 2 型糖尿病ラットにおけるアルブミン尿発症を抑制する
- 224.近藤秀治, 須賀健一, 松浦里, 木下ゆき子, 清水真樹, 高松昌徳, 漆原真樹, 河内裕, 香美祥二: ラット進行性糸球体腎炎における Hic-5 の発現の検討

第 44 回日本小児腎臓病学会学術集会（平成 21 年 6 月 26 日～27 日，東京）

- 225.鈴木康一，角智行，松井克之，河内裕：糸球体上皮細胞膜表面分子ポドプラニンの動態－発達過程，ネフローゼ症候群モデルでの解析－
- 226.青木康之，齋藤陽，生駒雅昭，河内裕，小坂橋靖：腎疾患における尿中 fractalkine の発現とその意義
- 227.池住洋平，鈴木俊明，唐澤環，河内裕，内山聖：ヘモグロビンスカベンジャー受容体（CD163）陽性 M2 マクロファージを介した IgA 腎症の慢性化組織形成とステロイド抵抗性機序
- 228.近藤秀治，須賀健一，松浦里，木下ゆき子，清水真樹，高松昌徳，漆原真樹，河内裕，香美祥二：ラット進行性糸球体腎炎進展における Hic-5 の発現

【2010 年】

第 53 回日本腎臓学会総会（平成 22 年 6 月 16 日～18 日，神戸）

- 229.富田雅之，山崎美穂子，鈴木康一，角智行，河内裕：非免疫学的機序により惹起されるネフローゼモデルにおけるタクロリムスの蛋白尿抑制効果の検討
- 230.鈴木康一，角智行，富田雅之，松井克之，河内裕：糸球体上皮細胞のバリア機能，足突起構造の維持におけるポドプラニンの役割
- 231.角智行，鈴木康一，富田雅之，河内裕：スリット膜における ephrin-B1 の発現様式，機能の解析
- 232.池住洋平，鈴木俊明，唐澤環，山田剛史，長谷川博也，河内裕，内山聖：糸球体マクロファージ浸潤像による球体腎炎の病態解析
- 233.津田秀年，山原研一，矢澤浩治，貝森淳哉，堀尾勝，河内裕，猪阪善隆，池田智明，高原史郎：Thy1 糸球体腎炎モデルでの他家卵膜由来間葉系幹細胞移植による治療効果とそのメカニズム検討
- 234.平田曉識，山田正人，熊崎俊樹，野口淳，柳沢尚紀，大和田滋，河内裕，松井克之：各種腎疾患におけるリンパ管増加の免疫組織化学的検討

【2011 年】

第 54 回日本腎臓学会総会（平成 23 年 6 月 15 日～17 日，横浜）

- 235.山崎美穂子，高橋彩，Hossain Murad，富田雅之，河内裕：糸球体局所における RA 系制御機構の解析
- 236.齋藤陽，宮内直子，富田雅之，河内裕：ポドサイトに発現している Neurexin-1 の存在様式，機能の解析
- 237.宮内直子，富田雅之，河内裕：シナプス小胞関連分子のポドサイトにおける発現：Syntaxin 2 の機能の解析

- 238.高橋彩, 小林ともよ, 小和田絵理奈, 山崎美穂子, Hossain Murad, 富田雅之, 河内裕 :
ARB の糸球体上皮細胞保護作用－PAN 腎症での解析－
- 239.丸山高史, 福田昇, 渡辺めぐみ, 上野高浩, 松本太郎, 山元智衣, 遠藤守人, 松本紘一,
相馬正義, 河内裕 : 単クローン抗体 1-22-3 誘発腎炎に対する脱分化成熟脂肪細胞
(DFAT)移植の効果
- 240.丸山弘樹, 清野詩子, 石井達, 西川祐司, 原正則, 行田正晃, 仲澤幹雄, 松山清治, 河内
裕, 山本格, 成田一衛 : 新規ファブリー病モデルマウスの病態の解析

第 32 回日本炎症・再生医学会（平成 23 年 6 月 2 日～3 日, 京都）

- 241.津田秀年, 山原研一, 貝森淳哉, 河内裕, 猪阪善隆, 高原史郎, 池田智明 : 他家卵膜由来
間葉系幹細胞移植による急性糸球体腎炎モデルに対する治療効果とそのメカニズム検
討

【2012 年】

第 55 回日本腎臓学会総会（平成 24 年 6 月 1 日～3 日, 横浜）

- 242.富田雅之, 浅見浩史, 望月悠里, 柳村尚寛, 渡辺光洋, 福住好恭, 山崎美穂子, 高橋彩,
河内裕 : スリット膜障害により誘導されるネフローゼモデルにおける p38 MAPK 阻害
剤の効果, 作用機序の解析
- 243.福住好恭, 山崎美穂子, 高橋彩, 富田雅之, 河内裕 : 次世代シーケンサを用いた PAN
腎症モデルにおける遺伝子発現の比較検討
- 244.山崎美穂子, 高橋彩, 金子博司, 福住好恭, 富田雅之, 河内裕 : 糸球体局所における RA
系分子の発現－ポドサイト障害モデルでの検討－
- 245.丸山高史, 福田昇, 渡辺めぐみ, 上野高浩, 松本太郎, 山元智衣, 遠藤守人, 松本紘一,
相馬正義, 河内裕 : 脱分化成熟脂肪細胞(DFAT)移植による単クローン抗体 1-22-3 誘発
腎炎の改善

【2013 年】

第 46 回日本腎臓学会総会（平成 25 年 1 月 30 日～2 月 1 日, 千葉）

- 246.河内裕 : 免疫抑制剤のポドサイト（糸球体上皮細胞）への作用

第 56 回日本腎臓学会総会（平成 25 年 5 月 10 日～12 日, 東京）

- 247.河内裕, 福住好恭, 富田雅之 : スリット膜の細胞生物学 : スリット膜のバリアー機能維
持に関わる分子の同定, 機能解析
- 248.丸山高史, 福田昇, 渡辺めぐみ, 上野高浩, 松本太郎, 遠藤守人, 松本紘一, 相馬正義,
河内裕 : 脱分化脂肪細胞(DFAT)移植による単クローン 1-22-3 抗体誘発腎炎の改善
- 249.高橋雄一, 恩田昌紀, 有松亜美, 栗沢航平, 菅井一成, 福住好恭, 富田雅之, 河内裕 : ラ

ット巣状糸球体硬化症モデルにおける Rituximab の蛋白尿抑制効果

- 250.高崎麻美, 相馬彩子, 高橋雄一, 高橋彩, 金子博司, 宮内直子, 福住好恭, 富田雅之, 河内裕: TRPM4 のポドサイトにおける発現様式, ネフローゼモデルにおける発現動態の検討
- 251.福住好恭, 高崎麻美, 相馬彩子, 高橋彩, 高橋雄一, 富田雅之, 河内裕
- 252.シナプス小胞分子 SV2B のポドサイト機能維持における役割 -ノックアウトマウスを用いた解析-
- 253.高橋彩, 相馬彩子, 高崎麻美, 高橋雄一, 福住好恭, 富田雅之, 河内裕: ネフローゼ症候群モデルにおける Endomucin 発現動態の検討
- 254.相馬彩子, 高崎麻美, 高橋雄一, 高橋彩, 金子博司, 福住好恭, 富田雅之, 成田一衛, 河内裕: 糸球体上皮細胞障害モデルにおける Calcineurin の発現の解析
- 255.鎌田悠志, 高橋彩, 萱場睦, 北澤幸奈, 高橋雄一, 高崎麻美, 相馬彩子, 福住好恭, 富田雅之, 齋藤陽, 河内裕: ポドサイト機能維持における Neuroligin-1 の役割: 巣状糸球体硬化症モデルでの検討

第 43 回日本腎臓学会東部学術大会 (平成 25 年 10 月 4 日～5 日, 東京)

- 256.河内裕: イルベサルタンのスリット膜保護作用 -PAN 腎症モデルでの検討-

【2014 年】

第 57 回日本腎臓学会総会 (平成 26 年 7 月 4 日～6 日, 横浜)

- 257.福住好恭, 高島奈津美, 広瀬絵理子, 若松彩子, 河内裕: シナプス小胞分子 SV2B KO マウス腎におけるシナプス小胞様輸送関連分子の発現解析
- 258.広瀬絵理子, 福住好恭, 高島奈津美, 若松彩子, 成田一衛, 河内裕: ポドサイト機能維持におけるスフィンゴシン 1 リン酸受容体シグナルの役割
- 259.金子博司, 若松彩子, 広瀬絵理子, 高島奈津美, 山崎美穂子, 福住好恭, 河内裕: 各種ポドサイト機能分子の病勢診断マーカーとしての有用性の検討: ラット PAN 腎症モデルを用いた解析
- 260.若松彩子, 福住好恭, 広瀬絵理子, 高島奈津美, 成田一衛, 河内裕: Calcineurin (CN) 阻害薬はスリット膜保護作用により蛋白尿を改善する
- 261.丸山高史, 福田昇, 阿部雅紀, 上野高浩, 松本太郎, 遠藤守人, 岡田一義, 松本紘一, 相馬正義, 河内裕: 単クローン 1-22-3 抗体誘発腎炎, アドリアマイシン腎症への DFAT 細胞移植の効果
- 262.柳田素子, 山田佐知子, 中村仁, 浅田三咲子, 松阪泰二, 河内裕, Economides AN: Bmp アンタゴニスト Twsg1 はポドサイトの Bmp シグナルを抑制し, ポドサイト障害を増悪させる

第 44 回日本腎臓学会東部学術大会（平成 26 年 10 月 24 日～25 日，東京）

263. 福住好恭，若松彩子，長谷川絵理子，高島奈津美，宮内直子，河内裕：ポドサイトにおけるシナプス様小胞の役割：SV2B KO マウスでの解析

第 37 回日本分子生物学会年会（平成 26 年 11 月 25 日～27 日，横浜）

264. 福住好恭，高島奈津美，長谷川絵理子，河内裕：腎糸球体上皮細胞におけるシナプス様小胞の役割：SV2B KO マウスでの解析

【2015 年】

第 58 回日本腎臓学会総会（平成 27 年 6 月 5 日～7 日，名古屋）

265. 丸山高史，福田昇，阿部雅紀，上野高浩，松本太郎，遠藤守人，岡田一義，松本紘一，相馬正義，河内裕：脱分化脂肪細胞（DFAT）の腎症改善効果の検討

266. 福住好恭，小田佳奈子，河内裕：ポドサイト機能維持における Ephrin B1 の役割-KO マウスを用いた解析-

267. 長谷川絵理子，若松彩子，福住好恭，成田一衛，河内裕：フィンゴリモドのポドサイト保護作用

268. 高島奈津美，福住好恭，長谷川絵理子，河内裕：発生期糸球体におけるスリット膜関連分子の発現動態の解析：Par3, ZO-1, Nephtrin, Podoplanin の発現パターンの検討

269. 後藤慧，金子佳賢，佐藤勇也，河内裕，成田一衛：レプチン欠乏は IL-23/Th17 連関抑制を介し腎炎を軽減する

270. 若松彩子，和田庸子，野澤由貴子，佐藤弘恵，中枝武司，今井直史，中野正明，河内裕，成田一衛：ループス腎炎におけるポドサイト関連分子とカルシニューリンの変化

【2016 年】

第 59 回日本腎臓学会総会（平成 28 年 6 月 17 日～19 日，横浜）

271. 張瑩，福住好恭，河内裕：次世代シーケンサー解析による新規ネフリン関連分子、スリット膜機能分子の同定

272. 福住好恭，張瑩，山岸稜平，河内裕：スリット膜の形成、維持における Ephrin-B1 の役割-タモキシフェン誘導ポドサイト特異的 KO マウスを用いた解析-

273. 高村紗由里，福住好恭，張瑩，成田一衛，河内裕：ネフローゼ症候群モデルにおける細胞極性因子 Par3 の発現動態の解析

第 39 回日本分子生物学会年会（平成 28 年 11 月 30 日～12 月 2 日，横浜）

274. 福住好恭，張瑩，山岸稜平，河内裕：腎糸球体上皮細胞スリット膜の形成、維持における Ephrin-B1 の役割の解明

【2017 年】

第 60 回日本腎臓学会総会（平成 29 年 5 月 26 日～28 日，仙台）

- 275.張瑩、福住好恭、河内裕：スリット膜特異的障害モデルにおける発現上昇遺伝子の検討：
次世代シーケンサを用いた RNA-seq 解析
- 276.福住好恭、張瑩、河内裕：ネフローゼ症候群モデルにおける新規 Ephrin-B1 関連分子
Vangl2 の発現動態の解析
- 277.高村紗由里、福住好恭、張瑩、成田一衛、河内裕：PAN 腎症、ADR 腎症における細胞
極性因子 Par3、Par6 β の発現動態

【2018 年】

第 61 回日本腎臓学会総会（平成 30 年 6 月 8 日～10 日，新潟）

- 278.福住好恭、張瑩、河内裕：スリット膜の新たな機能分子
- 279.張瑩、福住好恭、中村敬志、芦澤直樹、河内裕：キサンチン酸化還元酵素阻害薬トピロ
キシスタットのポドサイト保護作用
- 280.福住好恭、張瑩、安田英紀、河内裕：Nephrin-binding ephrin-B1 at slit diaphragm
controls podocyte functions through JNK pathway
- 281.安田英紀、張瑩、福住好恭、河内裕：ポドサイト傷害モデルの糸球体における FKBP12
の発現
- 282.高村紗由里、福住好恭、張瑩、安田英紀、成田一衛、河内裕：Interaction of the Par-
complex with Ephrin-B1/Nephrin plays an essential role in podocyte

第 48 回日本腎臓学会西部学術大会（平成 30 年 9 月 28 日～29 日，徳島）

- 283.河内裕：腎臓病克服に向けた基礎研究からのアプローチ：蛋白尿に対する新規治療法開
発の取り組み

【2019 年】

第 62 回日本腎臓学会総会（令和元年 6 月 21 日～23 日，名古屋）

- 284.福住好恭、張瑩、安田英紀、河内裕：NHERF2 interacts with cytoplasmic domain of
ephrin-B1 at the slit diaphragm of podocyte
- 285.安田英紀、福住好恭、張瑩、河内裕：腎糸球体におけるタクロリムス、シクロスポリン
A の結合蛋白質の発現解析
- 286.渡辺秀平、安田英紀、張瑩、福住好恭、河内裕：メサングウム増殖性腎炎における Th17
細胞の関与について

第 92 回日本生化学会大会（令和元年 9 月 18 日～20 日，横浜）

- 287.福住好恭、張瑩、安田英紀、河内裕：腎糸球体上皮細胞における JNK シグナルの役割

【2020 年】

第 63 回日本腎臓学会総会（令和 2 年 9 月 19 日～21 日，横浜）

288. 福住好恭、安田英紀、張瑩、河内裕：PDZ 蛋白質 NHERF2 は Ephrin-B1 と Ezrin を連結させ、スリット膜機能維持に重要な役割を果たす
289. 安田英紀、福住好恭、張瑩、河内裕：タクロリムスはアクチン細胞骨格の FKBP12 を保持する事でポドサイト傷害を軽減する

第 93 回日本生化学会大会（令和 2 年 9 月 14 日～16 日，横浜）

290. 福住好恭、張瑩、安田英紀、河内裕：腎糸球体疾患とスリット膜

【2021 年】

第 64 回日本腎臓学会総会（令和 3 年 6 月 18 日～20 日，横浜）

291. 福住好恭、安田英紀、張瑩、河内裕：NHERF2 はスリット膜の分子複合体とポドサイト頂部の分子複合体を連結し、ポドサイトの細胞骨格を維持する
292. 福住好恭、安田英紀、張瑩、河内裕：スプライスサイト 4 を持つ Neurexin1 α バリエントはスリット膜構造の維持に重要な役割を果たす
293. 安田英紀、福住好恭、張瑩、河内裕：FKBP12 は 14-3-3、synaptopodin と結合し、ポドサイトのアクチン細胞骨格と細胞突起の維持に関与する

【2022 年】

第 65 回日本腎臓学会総会（令和 4 年 6 月 10 日～12 日，神戸）

294. 福住好恭、張瑩、安田英紀、河内裕：Ephrin-B1 は Par-6-Cdc42 結合を阻害し tight junction 形成の抑制、スリット膜の維持に働く
295. 安田英紀、福住好恭、張瑩、河内裕：腎糸球体における 14-3-3 isoforms の機能解析

【2023 年】

第 66 回日本腎臓学会総会（令和 5 年 6 月 9 日～11 日，横浜）

296. 福住好恭、内許玉楓、安田英紀、河内裕：Neurexin1 α は細胞外部で Nephrin、細胞質部で Podocin、CD2AP と結合しスリット膜の構造、バリア機能維持に寄与する
297. 安田英紀、福住好恭、内許玉楓、河内裕：14-3-3 蛋白質は細胞骨格と Par 複合体の調節によってポドサイトの細胞突起を維持する

第 15 回日本獣医腎泌尿器学会学術集会（令和 5 年 6 月 9 日～11 日，東京）

298. 安田英紀、福住好恭、内許玉楓、河内裕：タクロリムスは FKBP12 とアクチン関連蛋白質 14-3-3、synaptopodin の相互作用を増強し、アクチン繊維の FKBP12 を保持する

事で糸球体上皮細胞傷害を軽減する

【2024 年】

第 67 回日本腎臓学会総会（令和 6 年 6 月 28 日～30 日，横浜）

299.内許玉楓、福住好恭、安田英紀、常国慶、萱場睦、河内裕：TRPM4 の発現、機能低下とその結果生じる TRPC6 発現増強、Ca²⁺流入の増加はポドサイト傷害の重要な初期変化である

300.萱場睦、内許玉楓、福住好恭、永井隆、常国慶、河内裕：抗ネフリン抗体検出簡便法の確立：免疫組織学的手法との感度比較

【2025 年】

第 68 回日本腎臓学会総会（令和 7 年 6 月 20 日～22 日，横浜）

301.内許玉楓、永井隆、常国慶、萱場睦、河内裕：v-SNARE の主要蛋白質である Synaptobrevin はポドサイトの機能維持に関与している

第 55 回日本腎臓学会東部学術大会（令和 7 年 9 月 27 日～28 日，横浜）

302.河内裕：ポドサイトの構造と機能ー基礎から臨床へー

研究助成金

【1991年】

平成元年度 新潟県医師会学術研究助成金：腎炎惹起抗原の同定，河内裕

【1992年】

平成2年度 塚田医学奨学会研究助成金：腎炎惹起抗原の分離・精製，河内裕

【1991年】

平成3年度 文部省科学研究費補助金 特別研究員奨励費：

腎炎惹起抗原の分離・精製，河内裕

平成3年度 井上研究所奨励金：蛋白尿惹起性単クローン抗体についての研究，河内裕

【1996年】

平成8年度 上原記念研究奨励金：蛋白尿惹起分子 p 51 のクローニング，河内裕

【1997年】

平成9年度 文部省科学研究費補助金 奨励研究（A）：

蛋白尿惹起分子 p 51 のクローニング、並びにその分子機能の解明，河内裕

【1998年】

平成10年度 国際学術研究：

糸球体上皮細胞間のスリット構造、機能の解析，清水不二雄・河内裕・Salant DJ

平成10年度 文部省科学研究費補助金 国際学術研究：

腎糸球体上皮細胞足突起間のスリット膜の構造、機能の解析

一病的蛋白尿発症機序の解一，河内裕

【1999年】

平成11年度 文部省科学研究費補助金 基盤研究（C）一般：

腎糸球体上皮細胞足突起間のスリット膜の透過性制御機構の解析，河内裕

【2000年】

平成12年度 内藤記念科学振興財団研究奨励金：糸球体と浮かせ制御機構の解析，河内裕

平成12年度 塚田医学奨学金：メサングウム増殖性腎炎の進展における

リンパ球の進展機序の解明と制御法の検討，池住洋平

【2001 年】

平成 13 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（B）展開：
蛋白尿発症原因分子ネフリンを指標とした診断法の確立，河内裕

【2002 年】

平成 14 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（B）一般：
腎糸球体上皮細胞によりもたらされる蛋白尿発症機序の解明，河内裕

【2003 年】

平成 15 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（B）展開：
蛋白尿発症原因分子ネフリンを指標とした診断法の確立，河内裕

【2006 年】

平成 18 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）：
蛋白尿発症の分子機構の解析・蛋白尿抑制治療法の開発，河内裕

【2007 年】

平成 19 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）：
慢性糸球体腎炎の進展機序におけるマクロファージの機能解析，池住洋平

【2008 年】

平成 20 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）：
糸球体上皮細胞スリット膜保護による新規蛋白尿治療法の開発，河内裕

【2010 年】

平成 22 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）：
マクロファージをターゲットとした慢性腎疾患(CKD)治療戦略，池住洋平

【2011 年】

平成 23 年度 文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究：
糸球体上皮細胞前駆細胞を用いた糸球体再生法の開発，河内裕
平成 23 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（B）：
細胞間接着装置の障害としての蛋白尿・他臓器疾患との関連一，河内裕
平成 23 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）：
糸球体上皮細胞におけるシナプス小胞関連分子によるスリット膜機能

調節機構の解明, 富田雅之

【2012 年】

平成 24 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B) :

腎糸球体上皮細胞スリット膜の形成・維持におけるシナプス小胞輸送機構の解明
福住好恭

【2013 年】

平成 25 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) :

M2 マクロファージを介した慢性腎疾患 (CKD) 進展機序の解明と制御法の確立
池住洋平

【2016 年】

平成 28 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B) :

腎糸球体上皮細胞スリット膜の形成、維持における Ephrin-B1 の役割の解明, 福住好恭
平成 28 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B) :
次世代シーケンサー解析によるネフローゼ症候群の新規治療標的分子の探索, 張瑩

【2018 年】

平成 30 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B) :

FKBP12 の腎糸球体上皮細胞における機能の解明, 安田英紀

【2019 年】

令和元年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B) :

脳腎関連: シナプス関連分子を標的とした新規蛋白尿抑制治療薬の開発, 河内裕
令和元年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) :
ポドサイト機能維持における Ca^{2+} 活性化型陽イオンチャネル TRPM4 の役割, 内許玉楓

【2020 年】

令和 2 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) :

腎糸球体上皮細胞スリット膜における Neurexin の役割の解明, 福住好恭

【2022 年】

令和 4 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 :

腎糸球体上皮細胞における stratifin の機能の解明, 安田英紀

令和 4 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B) :

Ephrin-ネフリン-NRX 複合体の機能解析によるスリット膜安定化機構の解明, 河内裕

【2024 年】

令和 6 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) :

スリット膜機能維持における Neurexin-シナプス小胞関連分子相互作用の役割, 福住好恭

【2025 年】

令和 7 年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) :

腎糸球体上皮細胞の機能維持におけるシナプス小胞関連分子 Synaptobrevin の役割,
内許玉楓

特許・特許出願

特許取得済

1. ネフローゼ症候群の予防薬又は治療薬をスクリーニングする方法，特許第 6770741 号，河内裕，2020 年 9 月 30 日
2. ネフローゼ症候群の診断を補助するためのマーカー及びその使用，特許第 7783637 号，河内裕，2025 年 12 月 2 日

思い出の写真



2008 年 9 月 27 日：河内裕教授就任祝賀会 於 新潟グランドホテル



2012 年 3 月 17 日：第 7 回弥彦ポドサイトセミナー 於 新潟ガレツホール



2016 年 5 月 29 日：腎研究センター設立記念式典 於 ホテルオークラ新潟 ①



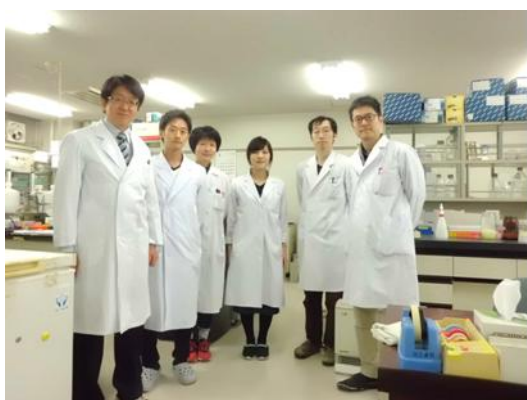
2016 年 5 月 29 日：腎研究センター設立記念式典 於 ホテルオークラ新潟 ②



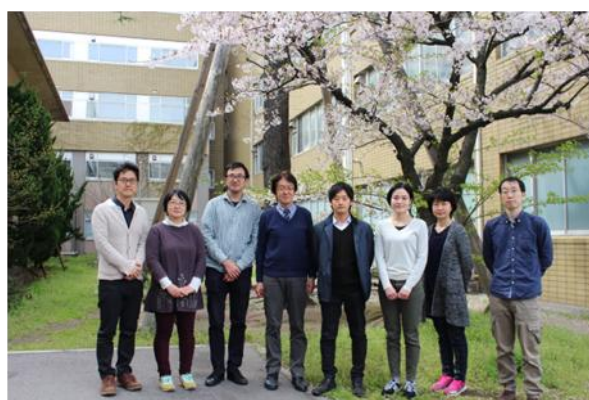
2017年3月4日：第1回ポドサイト研究会 於 新潟ガレソンホール



2018年3月3日：第2回ポドサイト研究会 於 新潟ガレソンホール



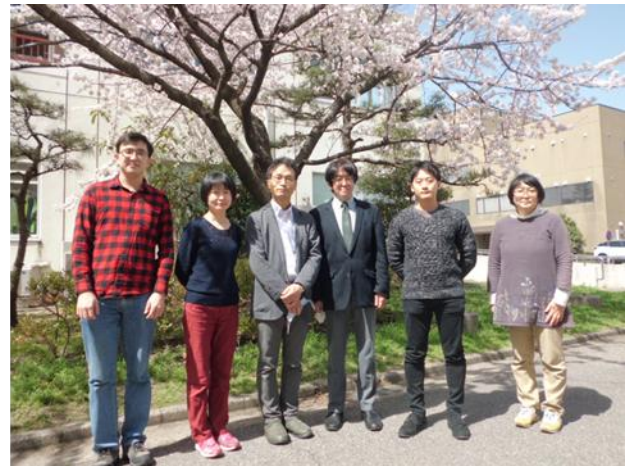
2018年3月30日：教室集合写真



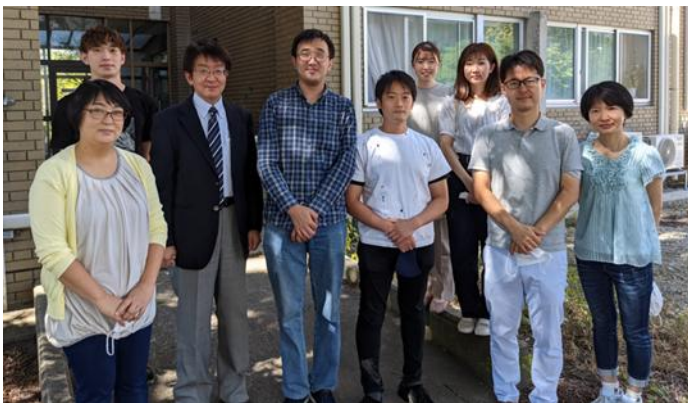
2019年4月17日：お花見（構内）



2019年8月9日：河内教授お誕生日会



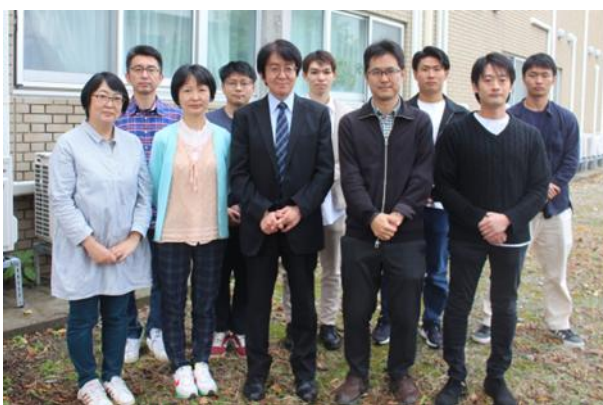
2020年3月31日：お花見（構内）



2021年9月21日：教室集合写真



2023年4月4日：お花見（構内）



2023年10月27日：教室集合写真



2023年11月21日：医局旅行（野尻湖）



2024年3月16日：第8回ポドサイト研究会 於 新潟ガレソンホール



2024年6月28日：日本腎臓学会
第15回ベストサイテーション賞 受賞式



2024年11月27日：医局旅行
(阿賀野川遊覧船)



2025 年 2 月 16 日：新潟医学会最終講義



2025 年 3 月 15 日：河内裕教授退任記念祝賀会 於 ANA クラウンプラザホテル新潟



2025 年 10 月 31 日：第 78 回新潟日報文化賞表彰式

編集後記

河内裕教授のご退任に際し、令和 7 年 3 月 15 日に退任記念祝賀会を開催させていただき、多数の先生方にご臨席賜りましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。ご多用の折にもかかわらずご出席いただきました先生方に、教室員一同、心より感謝申し上げます。

このたび、河内教授のご退任を記念し、新潟大学大学院医歯学総合研究科腎研究センター腎分子病態学分野における長年の研究・教育活動の歩みをまとめた業績集を上梓する運びとなりました。本業績集が、河内教授のご研究の軌跡を振り返るとともに、本分野の発展の一端を後世に伝える一助となれば、これに勝る喜びはございません。

河内先生は、腎分子病態学分野初代教授であられました清水不二雄先生のもと、医学部学生の頃より研究の道を志され、以後、学部学生、大学院生、研究者、そして教授として、実に 40 年にわたり一貫して研究・教育に尽力されてまいりました。「糸球体疾患の発症・進行機序の解明および新規治療薬の開発」という研究テーマのもと、日々真摯に研究に向き合われ、その成果は国内外において高く評価されております。

とりわけ、糸球体上皮細胞（ポドサイト）研究の重要性にいち早く着目され、国内唯一の研究会である「ポドサイト研究会」を立ち上げられたことは、本分野の研究基盤の確立と発展に多大な貢献をもたらしました。また、学内にとどまらず、全国および海外から多くの大学院生・研究生を受け入れ、後進の育成にも心血を注がれました。こうした長年のご功績が高く評価され、令和 5 年に日本腎臓財団学術賞、令和 7 年に新潟日報文化賞を受賞されたことは教室員一同にとりましても大きな誇りであり、深い喜びでございました。本業績集の作成にあたりましては、教室員の萱場睦さんに多大なるご尽力を賜りました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

河内裕教授のこれまでの多大なるご功績に改めて深甚なる敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。

新潟大学大学院医歯学総合研究科腎研究センター腎分子病態学分野
福住 好恭

